

家忠日記

四

リ 5

749

4



伊予門
號 749
卷 4



家忠日記 第四

文學博士坪井九馬三 校訂

日下 寬

天正十四年丙戌正月小 小年廿二

日丁酉 不 へ 卯 子 穎雨降 尚遠普清 付 不 家中 祀 子



日戊戌 不 へ

日己亥 不 へ へ へ へ へ へ へ

日庚子 不 へ 同

日辛丑 不 へ 同

家忠日記 第四

六日 壬子 亦へ 同 濱松より 精養軒 六中野 七夜 亦へ
 人はあつたのこゝに

七日 卯癸 同 普請に 亦へ

八日 辰甲 亦へ 同 普請に

九日 巳乙 亦へ 同 普請に

十日 午丙 亦へ 雨降 家康 忍崎へ 出城に

十一日 未丁 亦へ 同 普請に 涼海より 祈禱に

十二日 申戊 亦へ 普請に

十三日 酉己 亦へ 普請に 佳例に 連歌に 参り 康之

七月より 壬子 やらうへん 宿の松



十四日 戌庚 亦へ 同 普請に

十五日 亥辛 普請に 五ッ時迄 雨降

十六日 子壬 亦へ 普請に

十七日 丑癸 亦へ 同 普請に

十八日 寅甲 亦へ 普請に

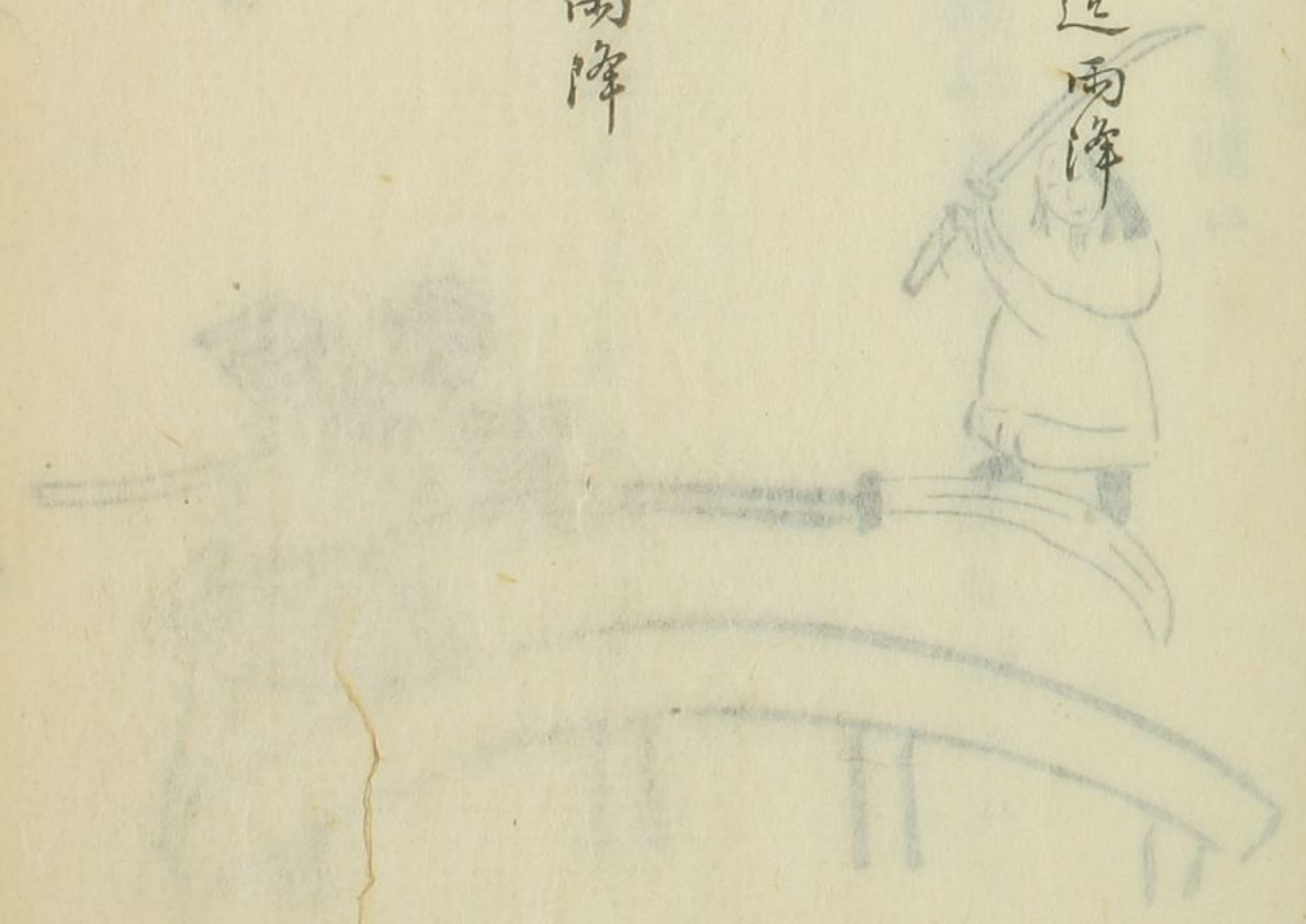
十九日 卯乙 亦へ 四ッ時迄 雨降

廿日 辰丙 亦へ 雪降

廿一日 巳丁 亦へ 普請に

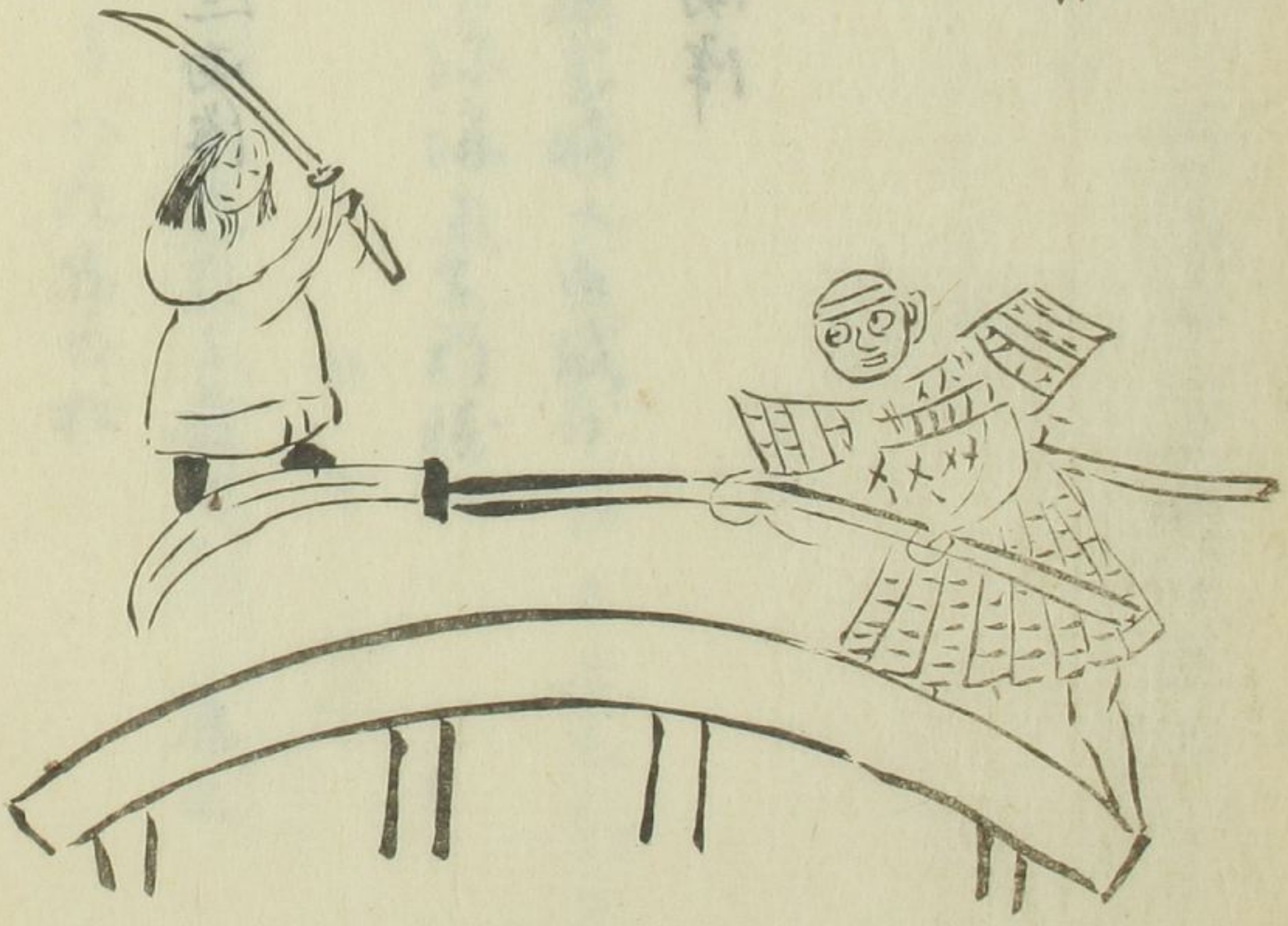
廿二日 午戊 亦へ 同

廿三日 未巳 亦へ 同



家忠日記 第四

廿四日 庚申 雨降
 廿五日 辛酉 大雨降 水出
 廿六日 壬戌 普降
 廿七日 癸亥 同
 廿八日 甲子 同
 廿九日 乙丑 同
 二月 大
 一日 丙寅 同
 二日 丁卯 同
 三日 戊辰 雨降



四日 己巳 雨降 普清
 五日 庚午 雨降
 六日 辛未 野田 菰沼 残部 後 尚 了 一 尺 餘 紙 以 不 了
 七日 壬申 雨降
 八日 癸酉 雨降 作 子 与 兵 一 夜 不 了 在 紙 紙 以 不 了
 九日 甲戌 大雨吹
 十日 乙亥
 十一日 丙子 雨降

家忠日記 第四

十二日 丑丁 外へ

十三日 戌丁

十四日 卯己

十五日 辰庚

十六日 巳辛

雨降

十七日 午壬

十八日 未癸

あさき雨降 刀刻あり

十九日 申甲

善六演松へ新海へ

廿日 酉乙

廿一日 戌丙

廿二日 亥丁

うちうきこやいとくをへい

廿三日 子戊

明日演松へこいりんとそふくを帰し

廿四日 丑巳

演松へ本板ヲ日通越し

廿五日 寅庚

城へ出い 晩雨降

廿六日 卯辛

家康相州氏政此見おこ後州へ出出いり申す迄

新越し

廿七日 辰壬

うちうきへやい火いを田名とくへりいふく

たうへりい

廿八日 巳癸

こくへこい

廿九日 午甲

晩雨降

家忠日記 第四



晦日乙未

とうへ幸行な安及今助辰在所へは細い 軟雨
降 人は是より去らぬ

三月大

一日丙申 曇下へり

二日丁酉

三日戊戌

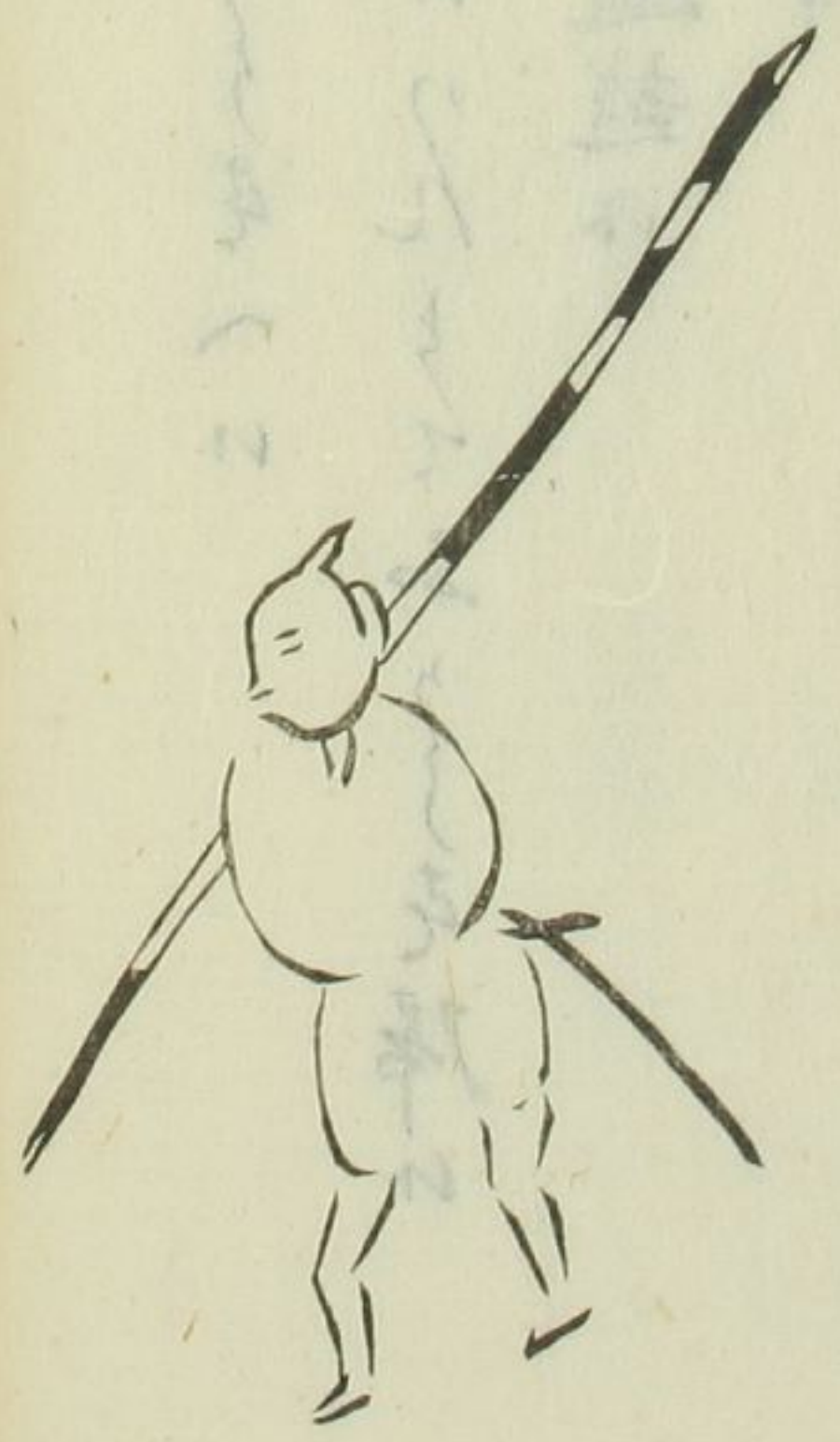
四日己亥

五日庚子

六日辛丑

七日壬寅

雨降



八日癸卯

九日甲辰

十日乙巳

十一日丙午

十二日丁未

十三日戊申

十四日己酉

十五日庚戌

十六日辛亥

十七日壬子

子へ 吉田本田十助辰越

子へ 吉田本田作左へ

子へ 吉田本田作左へ

雨降



家訓日記 第四

十八日 癸丑 雨降

十九日 甲子 中崎茶い

廿日 乙卯

廿一日 丙辰 五井松平流三郎殿舞之辻城い

廿二日 丁巳 雨降 中崎へ舟きてこい

廿三日 戊午

廿四日 己未 家康お州より去廿一日、濱松迄所帰城より由中

廿五日 庚申

廿六日 辛酉

濱松へ日うけここい吉田へい

廿七日 壬戌 城へ出仕い

廿八日 癸亥 大雨降

廿九日 甲子 去るをうりて初時をいふうを日うけこり

一 へりい

晦 日乙丑 巳刻をへ

卯月小

一日 丙子 今夜の山見お、手を上物事氏政より家康へ大

鷹十二馬十丈又流る幸是此を刀此脇物以上

家康より氏政へ去りら或る友とこのう日五枚

厚のう日五枚志中しくい二枚楽墨所を刀も

りいへぬ獨物第一文字又ぬ獨物國後ぬ獨物志
 のさかしくぬ長刀てつもゝりんも几箇以上
 這玉不ぬ款月次の連歌は竹谷金左衛門殿に
 い 兼句
 うちうへて世もあはゆるや五衣

二日 卯丁

大雪降

三日 辰戌

うゝへこゝい

四日 巳巳

芝大関く川並い

五日 辰庚

六日 辰辛

七日 申壬
 小辰二候より返にこすれいふくをへ城い
 八日 酉癸
 曇下へ急い益花主にふ多舞い
 九日 戌甲
 晩雨降 更夜に霜月と連歌い

兼句

ていーゆ代正傳

時多初喜やうる松の友

十日 亥乙
 雨降

十一日 子丙
 うゝへこゝい

十二日 丑丁
 今日羽染筑前味家康へぬこゝ入い

十三日 卯戊
 雨降 上方ぬ祝言来廿八日にお堂い

十四日 辰己
 雨降 酒左衛門おより明後日十六日と長津普

家忠日記 第四

諸之城之人の中申来い又本田源八代新十郎
同より東廿八日と此祝之と此代高なる舞
いへの中申来いふりて其へこりい

十五日庚辰

名下へりり

十六日辛巳

長津普徳之家申若に中付誠い 上方定儀す

こ人も此振舞の振舞時合に人をつりりい振
舞に就立こりい

十七日壬午

吉田へ振舞の膳立つりりい今度と松平源三

郎成と与人して伊成成ふる舞いへの中申来い

十八日癸未

五井源三郎成より振舞の談合に使とこりい

十九日甲申

又五井より振舞の談合に五使とてこりい舞に

勘方丈こりい此氣までおれいすい舞も初計舞

い又よりこりい此祝之儀時合に人をつりりい

い廿八日と此祝之儀お近の申申来い延いいハ

進ハ此初い此より野三兵衛と此つりりい

秀吉此此存知仁とてい申とて腹立つてい申い

酒井左衛門此其外本因平八郎榊原小平太城

いりぬとの儀とてい甚分中い上より小栗大

六尾州よりひちりり此三郎此誠と生い殿様ハ

いろく六ヶ表儀に而事切りりりいと此定いさ

家忠日記 第四

やういへハ位雄杯失此面目いとひちうさる三
郎中にて本田平八郎殿廿三日之味上を以て
長津普請出来にて人数御い 雨降

廿日 酉乙

廿一日 戌丙

之下へり 廿二日又長津普請へ城以への中
天野清兵衛より中津川前の奉行八権田藏ア
あは金助今度普請兵束は城とて三人之 小笠
原権尉ら城へ

廿二日 丁亥

雨降 虹を以て人数斗あり以演松へ当部普請
そん一高野聖ら城いり也け松原一そく中こ

いふて其之扇沈き之 勘左所とふ多舞い

廿三日 戌子

雨降 本田平八郎大坂へ此祝言之使に上

廿四日 己丑

廿五日 庚申

廿六日 辛酉

廿七日 壬戌

廿八日 癸巳

廿九日 甲午

五月大

家忠日記 第四

一日乙未 雨降 之下へりくもてこふ舞い

二日丙申 自演松上方此祝言之儀を白く内中來い日限ハ

重て可中城の中い多分當物此こい計十人

りさぬもろ田のりく言六ツりたまその

ふ多舞之長浮之普請出來中城

三日丁酉 雨降

四日戊戌 雨降 中い此祝言の儀使をこい

五日己亥 中い自吉田上方此祝言之儀來九日之由

六日庚子 雨降 本年八法派迄女房へ送り少て昨日

演松へ此御中吉田より中來い本田平八秀
吉より此出い物定家之此願指定家の是字此原
之湯も中い務後善六自演松こい

七日辛丑 來九日之此祝言之起法文之儀之日限少お正
中吉田より中來い

八日壬子 雨降

九日癸卯 竹谷与次郎殿此城の亥刻之吉田より此祝言
明日十日之此間相通園崎迄城へ中來

子刻之此城

十日甲辰 此祝言今日迄の明日之由之此間本領迄城い

晩、雨降。さやけ九子見物に城に

十一日巳 萩雨 池廻廻道祝言此道に出以西の野まで

徳島
平右衛門
伊左衛門

徳島
平右衛門
伊左衛門

徳島
平右衛門
伊左衛門

徳島中以上方より越え流あさの深兵衛富田
平右衛門伊左衛門左衛門瀧川右左衛門尾州左小
田源五瀧川之郎兵衛飯田半兵衛之此方此二
より内屋三左衛門之宅宗右衛門多居忠兵衛久
野左左衛門栗生長藤高方与江郎林原隼助之此二
より寸表えのこ一十二より法りこ一十五より
之代物三千貫金銀或此よりくハウチを志す
是十一日、岡崎山城迄此二より此二より徳島ハ

酒井小五郎之

十二日丙

此二より吉田迄此二より吉田より酒左馬守之國
京上方尾州左衛門多舞ハあさの深兵衛と栗平九
ハ郎富田平右衛門ハ野田右衛門瀧川右左衛門
よりこのつ伊左衛門左衛門ハふりより五井小
田源吾左衛門瀧川之郎兵衛ハ二連本飯田半兵衛ハ志
よりく女房前ハ酒左衛門之つりれも重銀の仕
立也 伊左衛門右刀折紙松原二束よりされ此
方よりハ右刀折紙汁進より伊左衛門宿ハ戸田左
衛門所也

十三日 未丁

雨降 吉田ニ此迄留也右分振舞にかきいんの

所より小右忠の伊波殿あ同者ニこゝにやけ

ニ小ちや丸五ツ此方より持参二本出の

十四日 申戌

晩ニ雨降 此ニ演松ニ入の拙者ハ領ヲ不

りニ海に

十五日 酉己

戸田の左のむを子ニ長刀出し以涼海勘定ハ

十六日 戌庚

十七日 亥辛

雨降

十八日 子壬

雨降 一昨日十六日ニ一日の夜中もいニ演松

此度あまの雨能ハ中ニ二ツニをさハ小娘殿

てさうハたき人ニこゝに

十九日 丑癸

うゝハこゝに

廿日 卯甲

晩雨降 ぶゝハ帰ハ二候よりむすめ少能ハ

中申来ハ初前初揚梅志ろくハ尾花もたせハ城

ハ

廿一日 辰乙

雨降 東巻とさマセ此ニハ去下ハ

廿二日 巳丙

うゝハこゝに

廿三日 午丁

廿四日 未戊

晩雨降 酒左申マセ演松より亥刻ニ質物出

返ハ問むハいニこゝにハ中申来ハ

廿五日 己未 ふうふうと雨の初夕 穀永良一平より

廿六日 庚申 萩雨降 初瓜小笠原六反より 柿原小平左上へ

水使に登いそふむけにメツカリ

廿七日 酉辛 二侯へ女共むくひ二人を出し今下そけいふ

る舞あは金助反に成

廿八日 壬戌 雨降 同左五反所 みる舞は初さうさ中崎権

兵尉より

廿九日 癸亥 神かり大雨降

晦日 甲子 萩雨

六月 小

一日 乙丑 二侯より女共こい

二日 丙寅 雨降 今女共あち物水返し礼に吉田へ使と

つりい

三日 丁卯 雨降

四日 戊辰 雨降

五日 己巳 萩雨降 土用こ入

六日 庚午 濱松へいへい使に使を城

七日 辛未

八日 壬申

九日 癸酉



家忠日記 第四

三

十日 甲戌

十一日 乙亥

藩

舞三と三城より申さう申さう堀川頼討以上三

十二日 丙子

雨降 知新方劫定

十三日 丁丑

雨降

十四日 戊刀

十五日 己卯

今午へ来

十六日 庚辰

雨降

十七日 辛巳

雨降 吉田より尚部儀塀よりおろさせられ
いりん中へ来

十八日 壬午

十九日 癸未

吉田より本田十助よりへ城塀をとおろしハ
ん之中にて新誠の人足さあひいして新塀

廿日 甲申

今午申さうとふ多舞をて城

廿一日 乙酉

廿二日 丙戌

廿三日 丁亥

廿四日 戊子

廿五日 己丑

廿六日 庚刀

家忠日記 第四

廿七日 月次連歌并 仙 屏風ひきき一日二万貫句

才一 吟蜂の本本涼しおくらり 家忠

才二 風うらるるや屏風のうらるる 行徳 清善

此歌仙ハ先年宗牧とあそびて建いりしつゝ墨崎

火車こうせいのをうさつと銘巴とあそび書つうせ

中々也

廿八日 才一 やこおとりこしゆせおとりい

廿九日 才二 やこおとり今下とあそびい

七月小

一日 才一 去下へりり 浄教迄留一折興りい

未達支秋をあつて一葉外 浄教

二日 乙未

三日 丙申

四日 丁酉

五日 戊戌

六日 己亥

竹のやへ礼に城に明日入院月次連歌にて竹
のやへ留い

七日 庚子

八日 辛丑

九日 壬寅

入院に月次連歌にてこしゆ

秋雨夕立い

家忠日記 第四

十日 癸卯 中崎へ堤つうせこ日うへりこ城は本作左束

原より原田平三郎音信とてあり

十一日 甲辰 志下へ舞こあふこよりこいにてすここい

十二日 乙巳

十三日 丙午 雨降

十四日 丁未 志下施我鬼へり

十五日 戊申 竹谷よりおとりこいへ志下施我鬼とて城に

十六日 己酉 係こへ川よりこ日うへりこ城は舞こよこ越

十七日 庚戌 竹のやおとり返し

十八日 辛亥 吉田より本田十助奉行ここいへ志下城塀門と

りつせ

十九日 壬子 一昨日十七日家康真田表働と作付の後府迄

出馬し中

廿日 癸丑 志下へ城人足あてにてこい

廿一日 甲寅 雨降 志下へり

廿二日 乙卯 雨降

廿三日 丙辰 雨降 長尊城に

廿四日 丁巳 雨降

廿五日 戊午 長尊城にて遊覧し 志下

見ぬよ夕明の宿乃月

廿六日 己未

廿七日 庚申

廿八日 辛酉

廿九日 壬戌

八月大

一日 癸亥

二日 甲子

三日 乙丑

四日 丙寅

うへへのようひよてい

名下へ系い 大雨降

永良中崎堤されい 同雨降

同新次郎和月次を連取い

水あらしのうへへ川流てい

五日 丁卯 雨降

六日 戊辰

七日 己巳

真田之儀上より喰ひて家康此馬いりて延引

八日 庚午

名下東巻合ふ来十日に存幸と水渡い暇乞ふ

九日 辛未

十日 壬申

十一日 癸酉

十二日 甲戌

竹のや金左衛門碁うちひろさうい

存幸名下へ入寺法成い 夜うけ大雨降

家康日記 第四

十三日 乙亥 曇下へり

十四日 丙子

十五日 丁丑 雨降 竹谷備後守へ一日二る顔興行の城に

才一 又家忠

さては月おひひりのりり外

才二 ていし由清善

ありめこし月ハうを芳れを記す

十六日 戊戌 後郭のふろ舞道て舞

夜雨降

十七日 己卯 雨け

十八日 庚辰

十九日 辛巳

廿日 壬午

竹のやと次郎宗
茶ノ湯ハ宗光

同うてひうてひこしは留

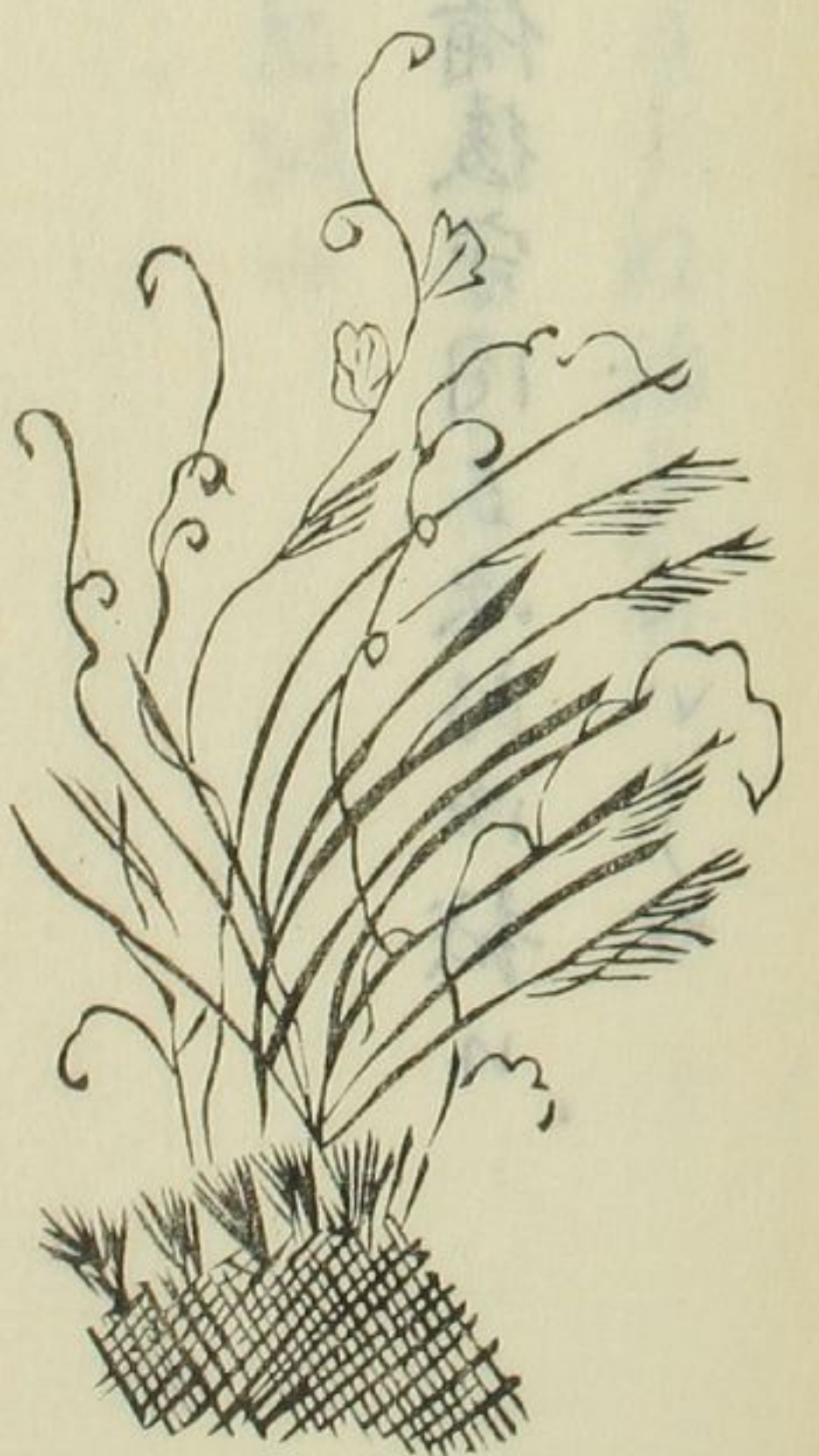
廿一日 癸未 雨ゆりて竹のや宗光備後 曇下へり

廿二日 甲申 夜雨降 家康様一昨日廿日と後府より濱松に

此帰に由申来

廿三日 乙酉

廿四日 丙戌



家忠日記 第四

廿五日 丁亥 移居八郎三郎へ爰忠之連取之城也

廿六日 子戌

廿七日 丑己

廿八日 寅庚

廿九日 卯辛

晦日 辰壬 家いさへい

九月小

一日 巳癸

二日 午甲 森平月次之竹谷備後守同占次郎取城也

告白

ていし

三日 未乙

四日 申丙

五日 酉丁

六日 戌戊

七日 亥己

移の書此書よりさうの福原外

占次郎取城也

雨降 移八郎三郎城也

去下之志由多んふ多舞て越也 殿様来十一

日二後府治屋渡今日七日之取城以間こい

へ之中申以て馬出也

八日 子庚

九日 丑辛

あさい取城也

魚川迄越也

十日 壬戌 雨降 後府中迄二〜

十一日 癸卯 水屋渡り之祝言中 右刀折紙たるより

長根へ右刀折紙

十二日 甲辰 日板迄海

十三日 乙巳 濱松迄歸り水屋渡り紙城

十四日 丙午 涼海よりり びる雨降

十五日 丁未 曇下り

十六日 戊申 秋雨降

十七日 己酉

十八日 庚戌

十九日 辛亥 會下長先根振舞り竹谷へ夜連秋之越

廿日 壬子 雨降 西郡用州へ礼之越り長刀之礼

方より鉄放三丁進

廿一日 癸丑 あさ迄雨降 曇下り

廿二日 甲寅

廿三日 乙卯

廿四日 丙辰 濱松殿様園崎へ迄二〜上方より海上迄

水仗と紙

廿五日 丁巳 新次郎所月次より竹谷備後殿紙

巻勾

正徳作てい

廿六日 戊午 山邊より福さめや麻の好
園崎へ城に城へ出仕に殿様上洛にお宅に仗

ハ朝野孫兵衛津田四郎九衛門富田平右衛門尾
州より小田源五瀧川三郎兵へひちうと彦三郎
越に

廿七日 己未 殿様演松へ所仰に
廿八日 庚申 法楽連歌に

散り 勘定申康定

立なすふ字本より筆の多番に
竹のやとら郎殿は城に夜点五連歌に

廿九日 辛酉

拾月大

十一日 壬戌

十二日 癸亥

十三日 甲子

十四日 乙丑

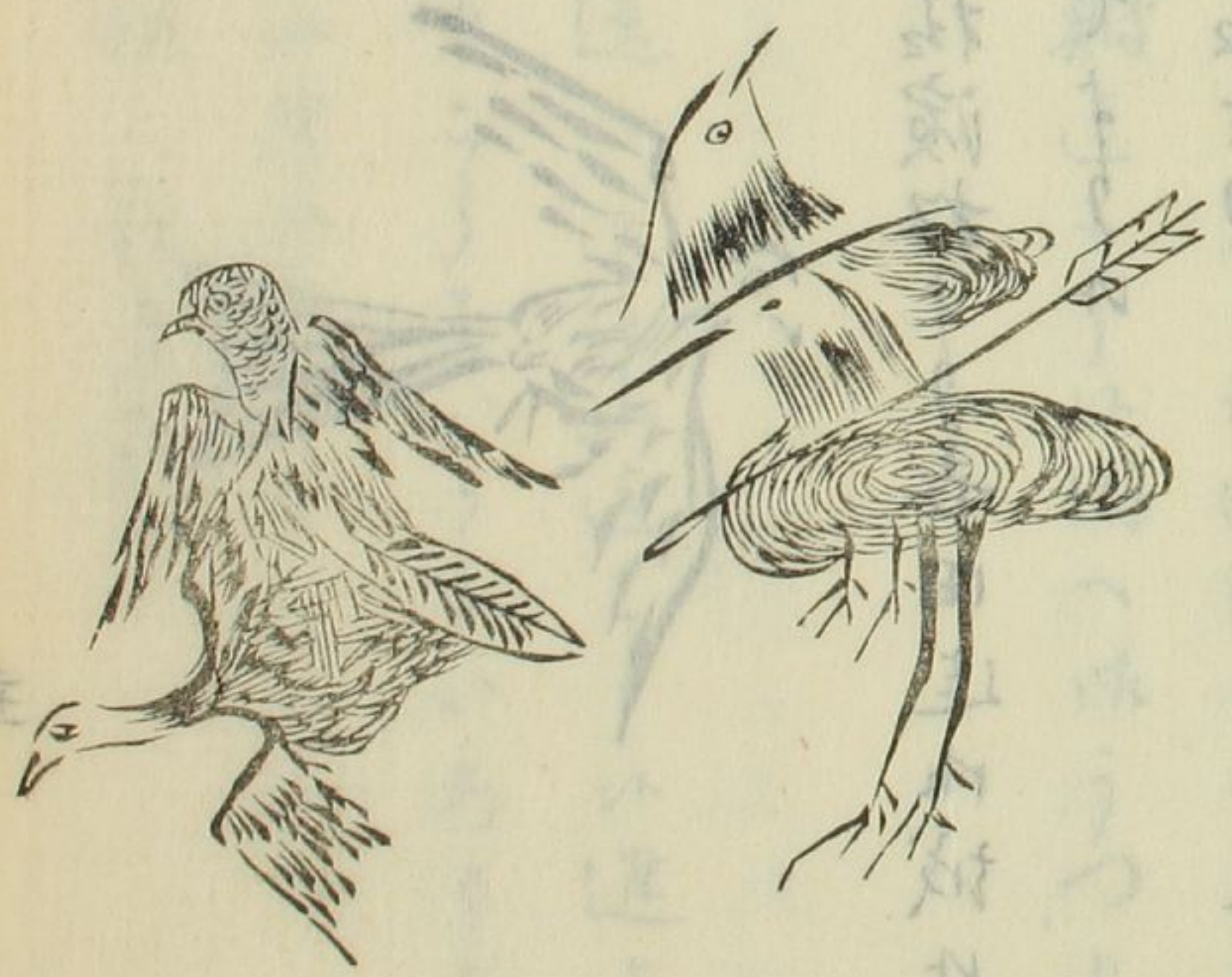
十五日 丙寅

十六日 丁卯

十七日 戊辰

十八日 己巳

雨降



家忠日記 第四

九日 庚午

十日 辛未 雨降

十一日 壬申 雨降

十二日 癸酉

十三日 甲戌

十四日 乙亥

十五日 丙子

十六日 丁丑

西尾へ進上物をつりり

谷より船出目

谷下へ来り 家康様吉田より吉良へ通る

池有助はともよき

御上流へ付る家康様濱松より吉田迄は城の中



十七日 戊戌 秀吉御母大政所家康様上流へ人質は明日十

八日 園崎迄は城は間夜通は遠く城へは中

本田作左衛門所より中來り船通園へは

十八日 己卯 大政所は遠く知經殿迄は園へはつり

ふりて来るへり

十九日 庚辰

廿日 辛巳 家康様上流へは送るは進上物

馬を足進は馬衣かりをいふは乃より

せ那子屋迄はこは中

廿一日 壬午 今下へは 大坊へ船を運ぶ

各旬

家忠

山水をせきと流るゝ木の葉外

廿二日 癸未

廿三日 甲申

廿四日 乙酉

廿五日 丙戌

廿六日 丁亥

廿七日 戊子

廿八日 己丑

廿九日 庚寅

上へ飛脚こゝり

上へ飛脚出い

雨降

上へ飛脚こゝり

晦日 辛卯

殿様去廿六日：大坂へ出立は成り此宿ハ英濃

守也明日廿七日関白様より此對面可成候事

秀吉待り候成其夜此宿へ此城殿様此をせと

らせしれいせおくの此座敷へ此成此座此存分

此作此入魂此中々中計此酒より：此成

関白様此酌より御盃を殿様へ此進此又此酌を

殿様よりせしれいせ関白様へ此を事此下之儀

八来七日：此さんいにて八日：成廿九日成

此殿様此使を此作事園崎より此注進此

十一月小

家忠日記第四

十二日卯 大政所出歸ふくくを歸し井野兵ア少補送

新系ハ

十三日甲 精殿善六十二郎京より歸ハ

十四日乙 雨降 精殿新七郎殿出城ハ

十五日丙 新七郎殿出歸ハ 乞下ハ

十六日丁 御前様より松ハ出歸ハ

十七日戊 竹若玄蕃殿奥國より出城ハ

十八日己 永良ハ白繩引せに城ハ集の邊よりハとあハカ

とハうちハ阿善右衛門野々ハ出城ハ永良ハ
て振舞ふくくを歸ハ

十九日庚 殿様明日出歸ハ申申来ハ

廿日辛 殿様御一献むくハ野々ハ申ハ水野法六殿出城

ハ長刀出ハ

廿一日壬 乞下ハ

廿二日癸 濱松ハ飛脚令度ハ出礼ハ越ハ竹玄之ハけ朱善

啓小玉鞆二

廿三日甲 二候ハ飛脚二ハ

廿四日乙 竹谷備後所ハ月次連頭ハ

廿五日丙 竹玄蕃興行ハ

發勾

玄清宗

多世あやむよりいぬ宿の松

廿六日 丁巳

廿七日 戊午

廿八日 己未

廿九日 庚申

極月大

一日 辛酉

二日 壬戌

三日 癸亥

四日 甲子

酒井小五郎より集りて誠い

雪降

今午へりり戸田左衛門誠い

汁とをりめい

雨降

殿様今日後へ出座い申い

五日 乙丑

六日 丙寅

七日 丁卯

八日 戊辰

九日 己巳

十日 庚午

十一日 辛未

十二日 壬申

十三日 癸酉

小六所よりふる舞い汁との

作十郎おこふる舞い

夜雪降

竹若備後所夕めりて振舞い誠い明日隠入院連

隠入院連

下女房京雨の字より誠い

十四日 甲戌 同与五左所、ふりぬい汁との

十五日 乙亥 名下へりり

十六日 丙子 吉岡へ知方不作に一書もせしめて人をこ

十七日 丁丑 五井松三へ客人、城に墨信先坊同及

十八日 戊辰 萩雪降 五井よりゆい竹若と江郎と城にて

散句

心伝

おとあへせむねもあるー雪の友

十九日 己卯 同九七郎所、汁おとの振舞いと江郎後とゆい

廿日 庚辰 大津妹子ヲ満くけい申申来い

廿一日 辛巳 雨降 長亮標出時とて城に 名下東堂今下

へりり、家康の鷹師京西尾よりゆいよられい

てゆい

廿二日 壬午 雪降 鷹師京西尾小桑忠義、予る物想ふ

己しをゆい

廿三日 癸未

廿四日 甲申

廿五日 乙酉

廿六日 丙戌

大津へ祝云、如履一平城い

家忠日記 第四

三

廿七日 丁亥

廿八日 戊子

同新二郎汁毎々七匙五十分

康定

来子喜う部... 年乃皆

廿九日 己丑

晦日 庚子

夜雨降 立春

天正十五年丁亥正月小 小年廿三

一日 辛卯

雨降 礼座以急下へ来

二日 壬辰

三日 癸巳

くせんちやに左郎右衛門ひとり

四日 甲午

僧礼 誠以急下出長老へふり

五日 乙未

吉田左衛門の所 上方へ登りいとまこいふ

礼 誠以 餞十貫文

六日 丙申

七日 丁酉

竹岩と次郎所の家倉屋にてこい

八日 戊戌

くせん桑山本能坊ひとり

九日 己亥

相雪降 貝阿多せ

十日 庚子

雨降 貝阿多せ

十一日 辛丑

雨降 祈禱

十二日 壬戌 雨降 墨崎より一巻も録成り
十三日 癸卯 佳例の進路は竹谷備後守

教句

勘解由康定

弟世の妻浅種とや岩手松

十四日 甲辰 雨降

十五日 乙巳 雨降 吉下へ来り

十六日 丙午 雨降 竹谷備後守の具材とてこゝり

十七日 丁未 うくひを初者

十八日 戊申 墨崎布田作左衛門所へ礼とてこゝり 晩より雨降

十九日 己酉 鴨殿八郎三郎礼とて録成り

廿日 庚戌 同殿介所へ月次進路とてこゝり

廿一日 辛亥 吉下へりり 吉田より駿川由普徳来二日より

之中中來り

廿二日 壬子 鴨殿八郎三郎所へ礼とて録成り

廿三日 癸丑

廿四日 甲寅 初録徳川より録成り

廿五日 乙卯

廿六日 丙辰 駿州為普徳演名迄出り

廿七日 丁巳 見付迄録成り

廿八日 戊午 島田迄城晩より雨降

廿九日己未 夜雨降 駿府迄城以花巻院に陣立

二月大

一日庚申 城へ出礼中夜雨降

二日辛酉 治戸大炊助所へ振舞

三日壬戌 小栗二右衛門所へ多々舞いむと子能見物

四日癸亥 夜雨降 家康様へ出鷹と鶴のふり舞

五日甲子 此より二のくろ日堀普請

六日乙丑 本田巻後所へ多々舞

七日丙寅 普請奉行所へ多々舞

八日丁卯 雨降

九日戊辰

十日己巳

十一日庚午 晩より雨降

十二日辛未 晩に雪雨降

十三日壬申 堀普請出来石とり

十四日癸酉

十五日甲戌

十六日乙亥 雨降

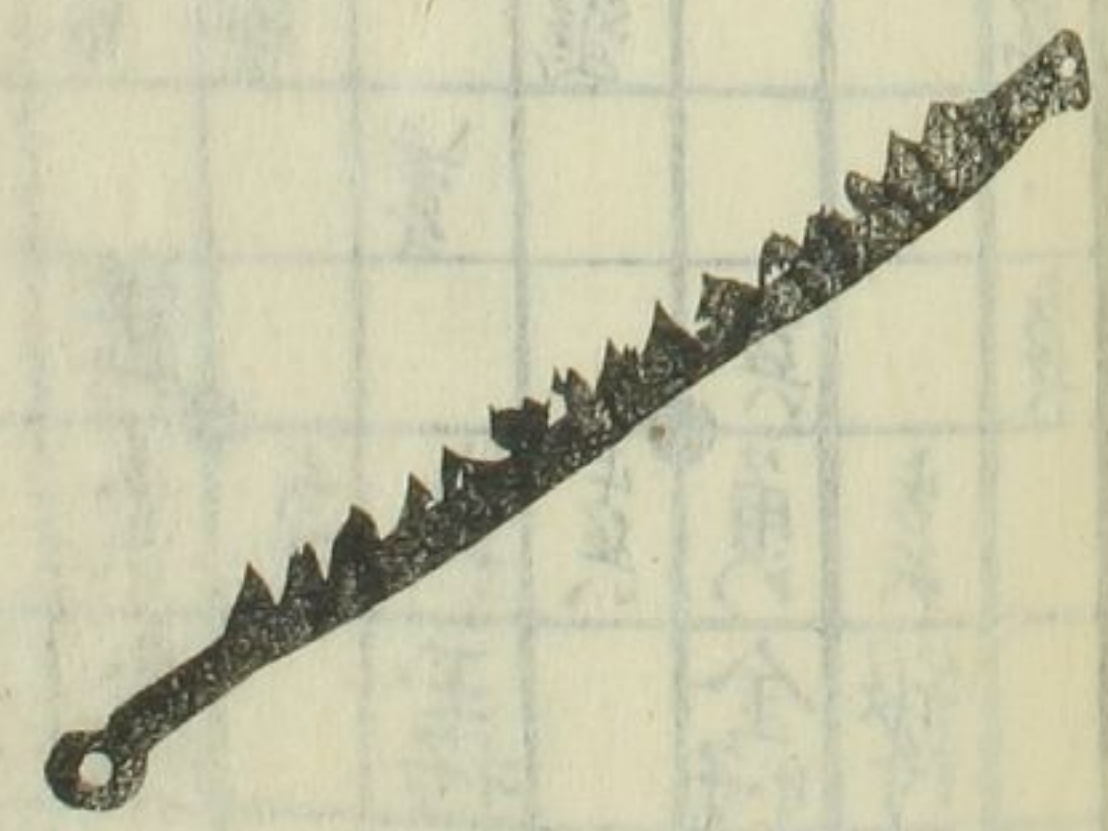
十七日丙子

十八日丁丑

奥國より城へ

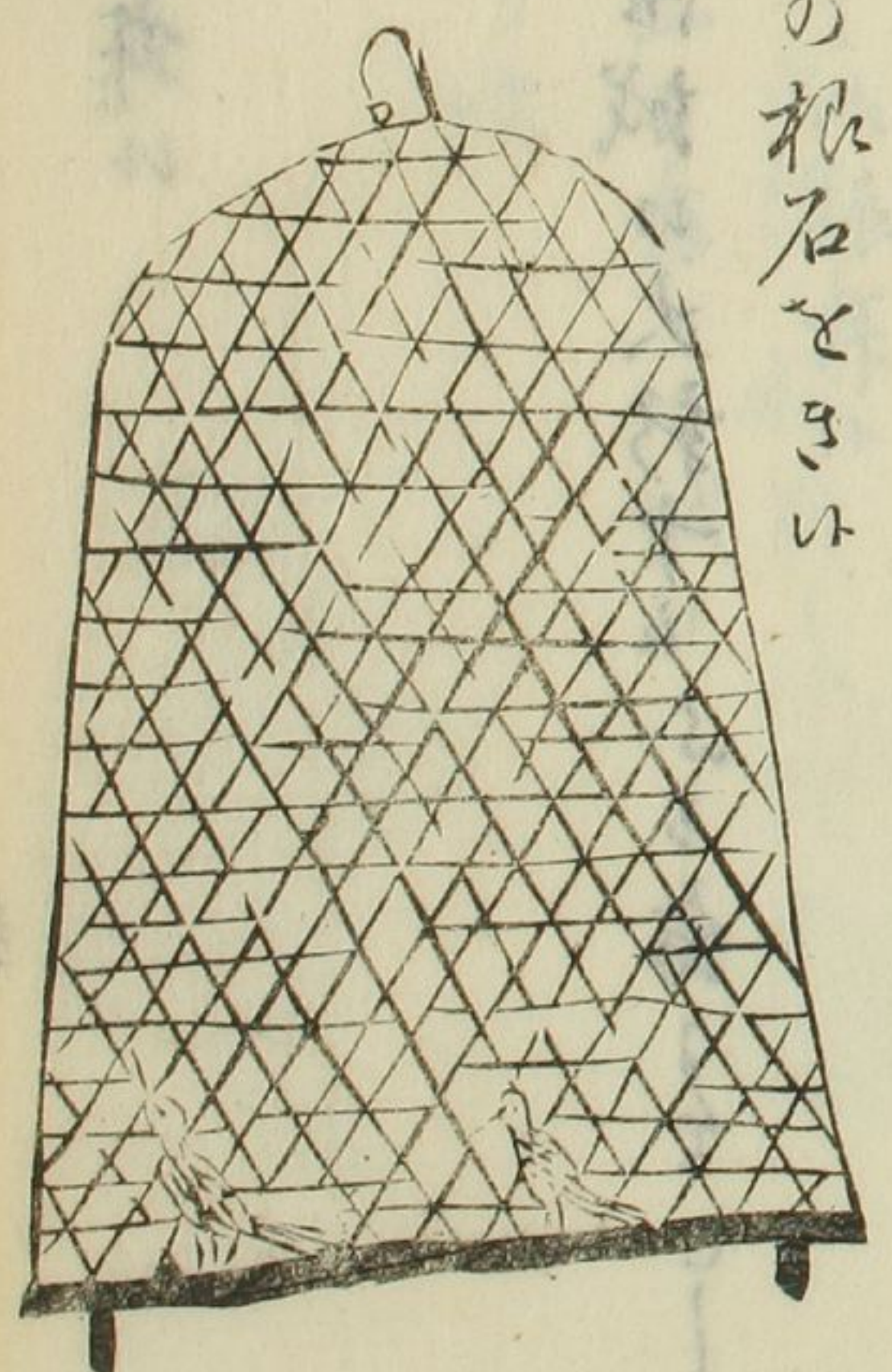
松平玄蕃に振舞

家忠日記 第四



廿九日 戌子
 晦 月 巳丑
 三月 大
 一日 庚刀
 二日 辛卯
 三日 壬辰
 四日 癸巳
 五日 甲午
 六日 乙未
 七日 丙申

象康松より江川酒造
 雨降 石の根をさす



家
 世
 記
 第
 四

十九日 戌刀
 廿日 己卯
 廿一日 庚辰
 廿二日 辛巳
 廿三日 壬午
 廿四日 癸未
 廿五日 甲申
 廿六日 乙酉
 廿七日 丙戌
 廿八日 丁亥

晚より雨降
 雨降
 雨降

柳原小平右同心
 在少少孫以

車	車	車	車	車	車	車	車
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
金	金	金	金	金	金	金	金
玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉
角	角	角	角	角	角	角	角
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
車	車	車	車	車	車	車	車



八日 丁酉 野田西銀ふる舞

九日 戊戌 雨降

十日 己亥

十一日 庚子 家康様遠州へ山城へ大新十日ふる舞

十二日 辛丑

十三日 壬寅

十四日 癸卯

阿部善右衛門所ふる舞とて城へ久松修渡書

三州西郡とて死す

十五日 甲辰

十六日 乙巳

十七日 丙午

十八日 丁未

雨降

家康様自遠州へ歸

酒井左衛門大坂より新海へ信物真田小笠原関

白根此異見とて出仕に酒左同心に酒左之あけ

志ら一月十八日れら

十九日 戊申

廿日 己酉

廿一日 庚戌

廿二日 辛亥

廿三日 壬子

山城へ此層橋へ此振舞

菅沼織部所ふる舞とて城

雨降夜西風あふ吹

あふ迄雨降

廿四日 癸丑 雨降
 廿五日 甲子 雨降
 廿六日 乙卯 雨降
 廿七日 丙辰 雨降
 廿八日 丁巳 雨降
 廿九日 戊午 雨降
 晦日 己未 雨降
 四月小
 一日 庚申 雨降
 二日 辛酉

柳原小平右衛門振舞子城



三日 壬戌 雨降
 四日 癸亥 雨降
 五日 甲子 雨降
 六日 乙丑 初時
 七日 丙寅 初時
 八日 丁卯
 九日 戊辰
 十日 己巳 雨降
 十一日 庚午

雨降 雨降 雨降
 城に初經水ふる舞子
 あさ迄雨降 内庭平左衛門所に振舞子にてこ
 一以以前さまらさ川のゆへ入



十二日 雨降
 十三日 申壬 雨降
 十四日 酉癸 雨降
 十五日 戌甲
 十六日 亥乙
 十七日 子丙
 十八日 丑丁
 十九日 寅戊
 廿日 卯己
 廿一日 辰庚
 夕立

病羊 糞 震

廿二日 巳辛
 廿三日 午壬 雨降
 廿四日 未癸
 廿五日 申甲 普請出來
 廿六日 酉乙 見付迄雨
 廿七日 戌丙 大ニ方風雨降
 廿八日 亥丁
 廿九日 子戊

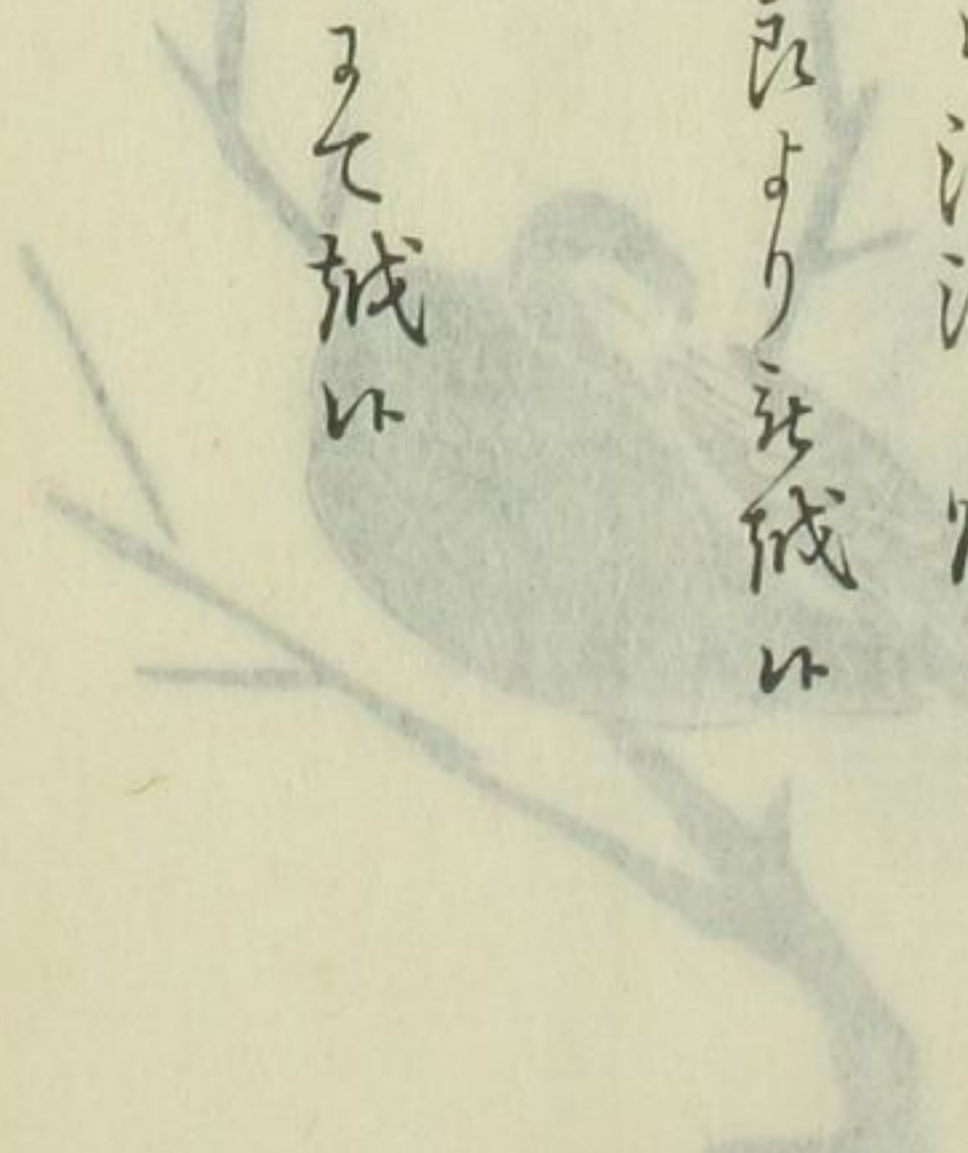
雨降
 雪吹よ
 城

雪吹よ右東門のハ又左東



五月大

一日 己丑
 二日 庚子
 三日 辛卯 永良へ越の修理所ニふる舞の晩孫左衛門所ニふる舞とて中島へこし
 四日 壬辰 崇福とふる舞とて越の深溝ニ舞
 五日 癸巳 竹谷左深尾清十郎永良より成
 六日 甲午 雨降
 七日 乙未 竹谷備後守所へふる舞とて成
 八日 丙申 城お幸鶴舞と子越にて



多りありうけきよくん去んちやふる舞

九日 丁酉 雨降 下ニ舞
 十日 戊戌 雨降 むるけやいと
 十一日 己亥 雨降
 十二日 庚子 雨降 うちうやいと
 十三日 辛丑 雨降
 十四日 壬子 竹谷与次郎所ニ月次連歌
 十五日 癸卯 雨降
 十六日 甲辰 源了十三年心さし

十七日 巳 子向いて名彌と連敵

ふり成やふ苦地ハ高の志々る

十八日 午 雨降

十九日 未 雨降

廿日 申 自二候小笠越中

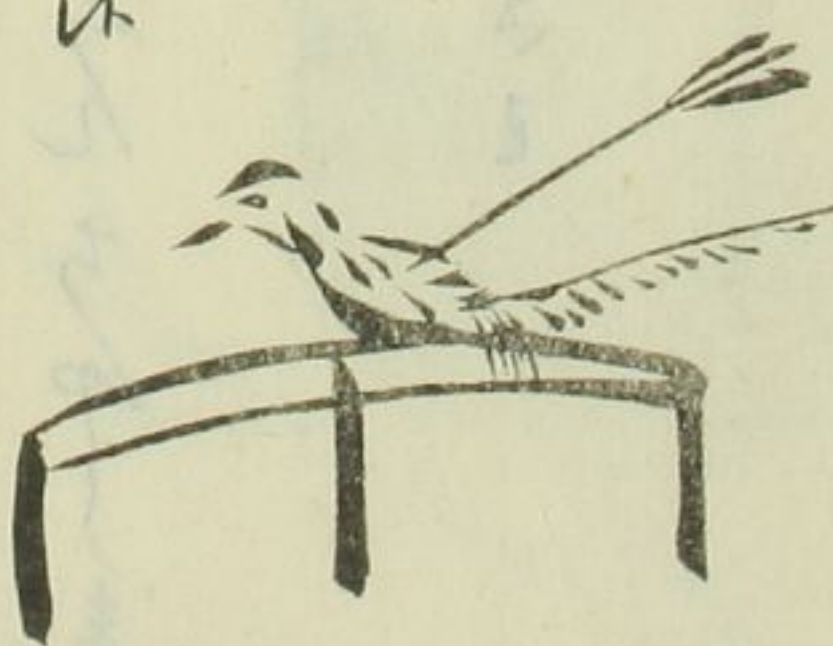
廿一日 酉 雨降 名彌と連敵る韻ハ竹谷左馬

廿二日 戌 雨降

廿三日 亥 雨降

廿四日 子

廿五日 丑 同小六右馬門所ハ月以連



散勾

本月有ハ山ハく筋の瀧の水

廿六日 卯 怒総長先と中を成り

去下へりハ初揚梅竹谷より

廿七日 辰 午刻雨降

廿八日 巳 雨降 竹谷と江郎

廿九日 午 雨降 安屋金助

晦日 未

六月 小

一日 未 己 あさ雨降 去下へり

二日庚申 雨降 二侯七郎右衛門所へ音信人をわっかい

三日辛酉 雨降

四日壬戌 雨降 ちうくより筋の初尾こい

五日癸亥 雨降

六日甲子 雨降

七日乙丑 雨降

八日丙寅 あさ迄雨降

九日丁卯 初夕うを右束の八

十日戊辰



十一日己巳 雨降 知行方勘定い

十二日庚午 雨降 小笠原越中殿ニまゝへ被帰い

十三日辛未 初さしけりせん ちうり来い

十四日壬申

十五日癸酉 忠強あま舞い合下へり

十六日甲戌 萩雨降 由基所京木をいせ成い

十七日乙亥 弁谷と以郎所点五連あは成い

夜雨降おくの産あふせい

十八日丙子 阿き迄雨降

十九日丁丑 木をいしてあし 持家進路い 雨降

松波 正徳

菖玉はうま系波二年蓮汁

廿日 戌 霜雨降

廿一日 己 霜下へりり 雨降

廿二日 辰

廿三日 巳 九七郎所、月次、蓮汁

松波重隆

あつてもやんが夏の花乃宿

廿四日 午 壬

廿五日 未 癸 竹谷左衛門、所、大月、蓮汁にてこゝり

廿六日 申 甲 松波新内、米初尾大坊より城

廿七日 酉 乙 今下惣徳、ふる舞、城

永原松平、由、海、由、從、後、川、中、来、り

廿八日 戌 丙

廿九日 亥 丁 大雨降大水出、城、勅、右、大、城、ハ、時、舞、り

七月六

一日 子 戌 雨降、下へ、多、舞、て、城、ハ、勅、右、大、舞、り、十、番、切

二日 丑 己 款地震二度、十三郎、後、川、へ、り、り

三日 卯 庚

四日 辰 卯 雨降、中、田、作、左、同心、平、之、め、ん、り、り、り

五日 辰 壬 吉田より本田十介出陣

六日 巳 癸 十介出陣

七日 午 甲 吉田へ参り 詠三首

八日 未 乙

九日 申 丙 大津座陣

十日 酉 丁 天下一不とけき

十一日 戌 戊 吉田より本田十介出陣

十二日 亥 己 吉田より本田十介出陣

十三日 子 庚

十四日 丑 辛 吉田より本田十介出陣

十五日 卯 壬 吉田より本田十介出陣

十六日 辰 癸 雨降

十七日 巳 甲 下よりかとり

十八日 午 乙 竹谷よりととり

十九日 未 丙 竹谷よりととり

廿日 申 丁

廿一日 酉 戊 雨降 吉田より本田十介出陣

廿二日 戌 己 中嶋へ堤法かせ

廿三日 亥 庚 夜雨 武為室子

廿四日 辛亥

廿五日 壬子

廿六日 癸丑

廿七日 甲寅

廿八日 乙卯

廿九日 丙辰

夕立 家康様水上迄とて墨崎迄水着け
迄水運に多しふりて物に

以下至八月五日 關伏

六日 癸亥 竹谷金左衛門 辻城に陣をとりて城の上へ飛脚つ
りハハハ

七日 甲子

八日 乙丑

竹谷松平 備後守所ニ文基ひらきの進路にてこ
しハ

家忠

言ふの花はまて多し多し

九日 丙寅

十日 丁卯

十一日 戊辰

十二日 己巳

雨降 又京へ飛脚出ハ

京へ城に飛脚物に家康様水仕合能いて今明日
中ニ出物に申中來ハ



十三日 庚午 家康探田原大津に舟を以て水ありり中にて

人をとりけり

十四日 辛未 新二郎所より舟にて西より去り城に酉刻

二家康振置崎へ水着は成り申す子刻に岡より

り申す別城に長瀬知行分地見ゆり申す

十五日 壬申 城に出仕ゆふに去り

十六日 癸酉 吉下へゆき岡崎へも去り物もよせて役をこ

し

十七日 甲戌 殿根後州へ舟ゆき今度水位大納言に成り

十八日 乙亥

十九日 丙子 夜雨

廿日 丁丑 阿比雨降 竹谷左衛門駐城に

廿一日 戊寅 雨降 三光院にて持家と遊ば

教句

正信

篠子翁白玉ちりそよ外

廿二日 己卯 今午へゆき 大野にゆき城妙城に

廿三日 庚辰 雨降 ひるに入 吉下へゆき

廿四日 辛巳 雨降

廿五日 壬午 雨降

廿六日 癸未 大坂水より三つんせきと津湯治とて水と

抄り昨日ひさちへ出つさひそ男女をひ

廿七日甲申 雨降

廿八日乙酉 雨降

廿九日丙戌 雨降

九月大

一日丁亥

二日戊子 大雨降所々大水出

三日己丑 雨降

四日庚寅 又大雨降

五日辛卯 雨降 何々二山伏法城

六日壬辰 雨降

七日癸巳 輕あみ志々々

玉桂

八日甲午 一ちん

九日乙未 一ちや

十日丙申 一さ

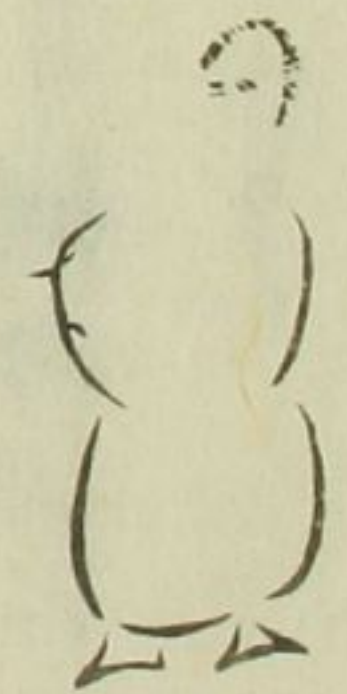
十一日丁酉 夜雨降 一らん

十二日戊戌 一らん

十三日己亥 一うん

十四日庚子 一白旦

家忠日記 第四



家忠日記

十五日 丑 夜雨降 一ういう 寺五武分

十六日 子 一ちやうもつう 武朱

お猿を建物頼とて墨崎ぬるつに誠い

十七日 卯 朱朝日より駿河山城由普請に中酒左忠より

中朱い

十八日 辰 家康松田原へ麻狩に明日小松原迄は城に中大

津より中朱い

十九日 巳

廿日 丙

廿一日 丁

法乐にまねに弁左法誠い

散句 正傳

松平家手世そふけや神の庭

弓矢くハ家康松田原へ鹿狩に出ゆて形原よ

り渡海いハ風吹てまゝさ崎より帰れ明日人

計つらハい

廿二日 戌 祈禱い卯ハ十一日こいへるう南城坊るこ中

根を延川い下へととと根大洞より山城

いて田原へこいをうへりい

廿三日 巳

廿四日 庚

家忠日記 第四

家忠日記

廿五日 亥 辛

廿六日 子 壬 駿河水増為水普清ありて出

廿七日 丑 癸 風雨にて阿久いこ逗留

廿八日 寅 甲 みつけとこい

廿九日 卯 乙 島田とこい

晦日 辰 丙 府中と系差

十月小

一日 巳 丁 普清ハ家康松田系より水増ら水無く手あ

へのうくくより山うへ城

二日 午 戊

三日 未 己 家康松田系より水増

四日 申 庚 あきめ小栗二右衛門所へふる雪をて城

水城初序初経の水ふる舞

五日 酉 辛

六日 戌 壬 雨降

二日のうん石うけ

七日 亥 癸

八日 子 甲

九日 丑 乙

十日 寅 丙 雨降

十一日 卯 丁

家忠日記 第四



四十四

十二日 戌辰 本城 塙普清

十三日 巳巳 雨降

十四日 庚午

十五日 辛未 水野清六所ふる舞

十六日 壬申

十七日 癸酉 源尾清十所ふる舞 城 晩雨降

十八日 甲戌 城 初輕のふる舞

十九日 乙亥

廿日 丙子

廿一日 丁丑

廿二日 戊卯

廿三日 己辰

廿四日 庚辰

廿五日 辛巳

廿六日 壬午

廿七日 癸未

廿八日 甲申

廿九日 乙酉

十一月 大

一日 丙戌 萩雨降

家忠日記 第四



産田三郎右親子は越

二日 丁亥

牧永より内城才木とけいこゆのうんの石

け出来い

四日 乙丑 二のくらハの石くけい

五日 庚申 新倉阿部吉右衛門よりふるきい 夕内城

六日 辛卯 鷹の石の振舞い

七日 壬辰 屋敷へこい

八日 癸巳 阿さ雨降

九日 甲午 小性元振舞い

十日 乙未 粉屋ハ郎三郎所へふる舞にてこい

十一日 丙申 戸田甚九所へふる舞にてこい

十二日 丁酉 水野清六所へふる舞にてこい

十四日 己亥 いの二郎左衛門より所へふる舞にてこい

十五日 庚子 宵、雨降酒井左衛門持家康振中、水能い

十六日 辛丑 小性元ふる舞い

十七日 壬子 同

十八日 癸卯

十九日 甲辰



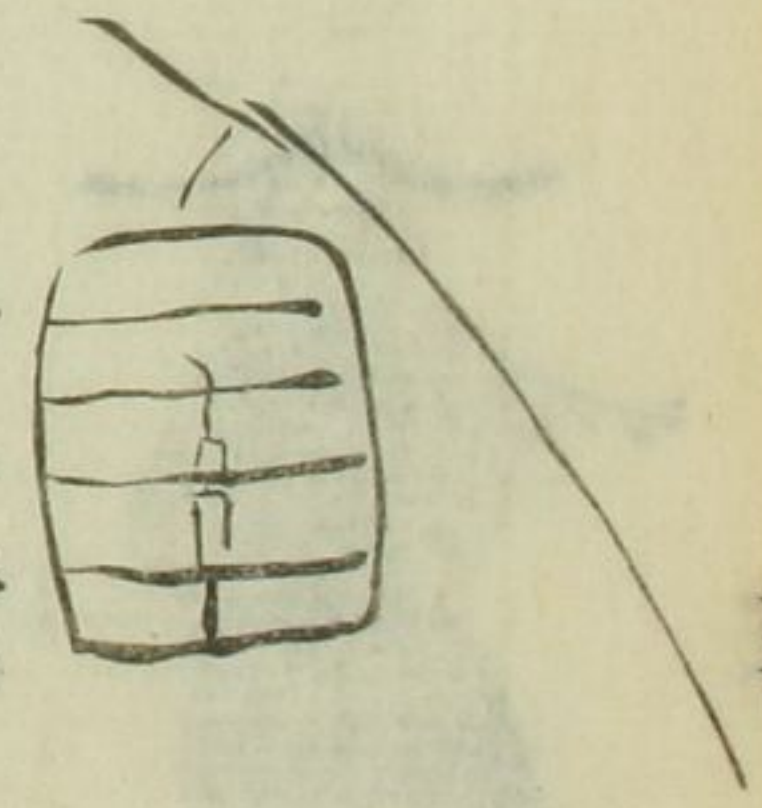
廿九日 乙巳

廿一日 丙午

廿二日 丁未

廿三日 戊申

深尾所へふる舞をこころ家康根所彦昭こころ
物へ此こころ田中こころ



廿四日 己酉

廿五日 庚戌

廿六日 辛亥

廿七日 壬子

廿八日 癸丑

大治部祝言に詔を奉り出されし
大座治部むを信州足田所へこころ送りこ返り

迄こころ 暎雨降

廿九日 甲子

晦日 乙卯

十二月 小

一日 丙辰

二日 丁巳

三日 戊午

濱松迄歸し
ふるまを迄歸し外のやへ備後頼朝より
このさう同崎に座し人とこころ内勤御中
ふる舞し



四日 己未
五日 庚申

六日 辛酉 善五左衛門所。振家ハ永良へ向ひひうせここ

一ハ

七日 戌壬 去アテハあみひうせハ輕七千五本附五十枚

八日 亥癸 同アハ引セハ輕六十五本附三十五子ハ

九日 子甲 家康より西尾へ出こ一ハ

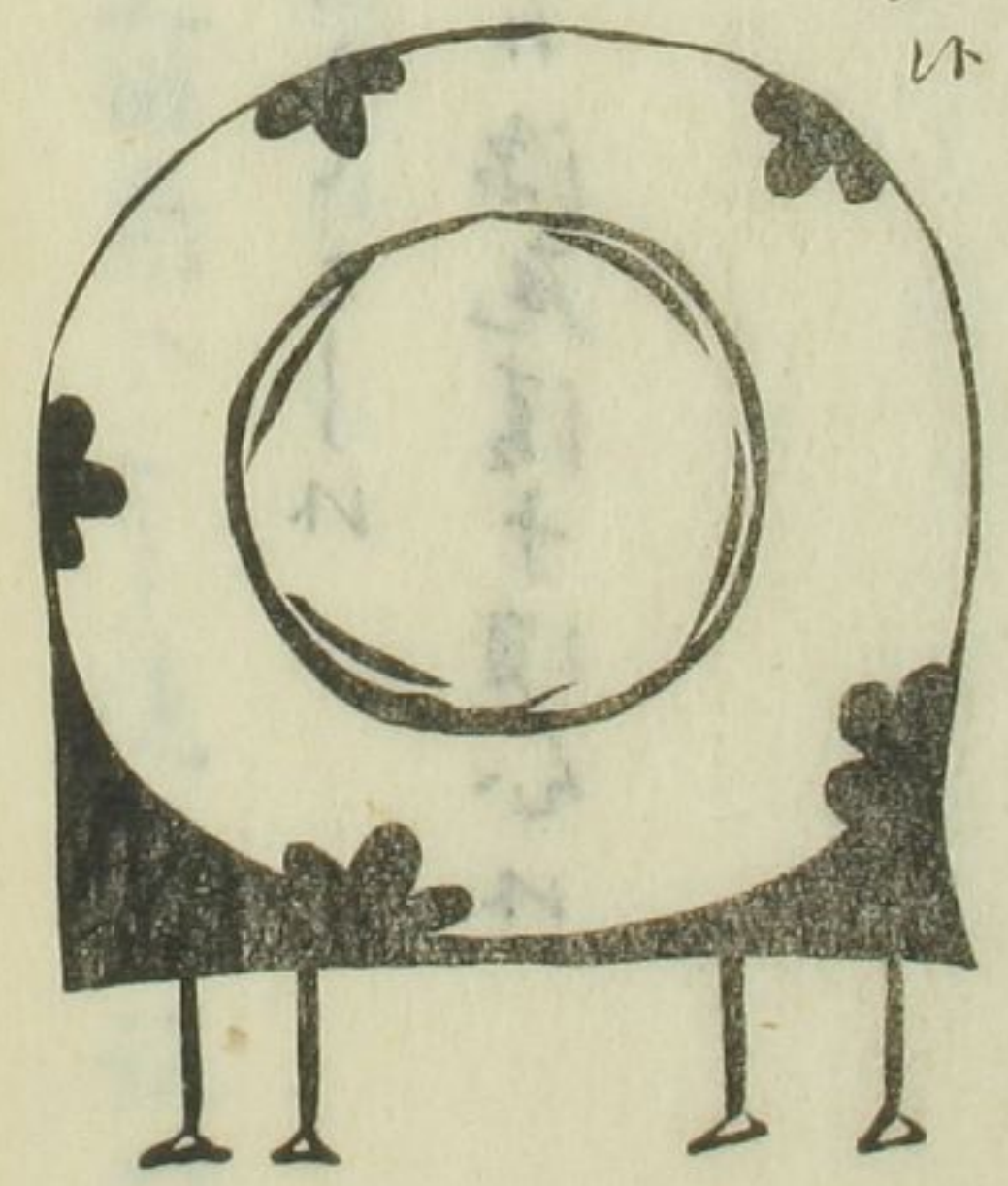
十日 丑乙 家康より水原の將領ハ

十一日 丙卯

十二日 丁辰

十三日 戊辰

十四日 巳巳



十五日 庚午 去下へ系ハ

十六日 辛未 雨降

十七日 壬申

十八日 癸酉 家康振西尾より園崎へ出陣ハ

十九日 甲戌 家康振すハ久ハ出陣ハ

廿日 乙亥 雪降 そけハふる舞ハ園崎文悦も出陣ハ

廿一日 丙子 去下 順透へふる舞マセこ一マシりトク

こへハ

廿二日 丁丑

廿三日 戊卯 永良へあまひうせここ一ハ輕五十本附三十八

家忠日記第四

枚

廿四日 卯 吉田蔵多々人ヲ二一い

廿五日 辰 庚

廿六日 巳 辛

廿七日 午 壬

廿八日 未 癸 意下へ系い

廿九日 申 甲 萩雨降

天正十六年戊子正月大 小年廿四

一日 酉 乙 家中礼日



二日 戌 丙 下へ系い

三日 亥 丁 駿州へ出仕候、飛脚をつらひ右郎右忠

つひとらへせんちやい

四日 子 戊 雪降

五日 丑 己 駿河酒左衛門持所より来十五日巳前、駿府

普請成いへ中申来い

六日 寅 庚 永良へあこひうせここいひこひ二十本附る五

十枚とりい

七日 卯 辛 来十五日乙未普請お延い申吉田小五郎所より

申来い

八日 辰 雨降 吾下東中根大洞より城へふる舞中

岡崎文悦肥田吉右礼、城へ

九日 巳 岡崎本田作左衛門所へ礼、城へ中島かその池

にてあをせひくせ急いより舟をおかすへ

十日 午 吾下、ふる舞の岡崎作左よりぬる、友國使

とら城、あま左衛門左衛門礼、城へ頼友助

友雪吹と右衛門親子礼、こゝに弁谷を左より

初らちり出さへ

十一日 未 頼友海 祈禱い

十二日 申 吾海

十三日 酉 例年連歌に弁谷と二郎岡崎法あくのりま

内川のりり 宇右衛門助と城へ

勘解由康定

末遠くさの行喜や宿乃松

うのりいすとの礼、城へ 秋雨降

十五日 己 亥

十六日 庚 子 あさ雪あられ降

竹谷備後所へ連絡とて城へ

十七日 辛 丑 岡崎内友法右衛門所より吉信は奥國より松平

玄蕃所より、年頭より吉信来り

十八日 壬戌 雨降

十九日 癸卯 下野後八郎三郎柏木務後後助所へ礼

廿日 甲辰 永良へ堤決りせし本之ヲこしし岡崎信光坊ら

廿一日 乙巳 大坊、崎田右衛門子侍従もッうけとりてひら

廿二日 丙午 去下へ糸い晩より雨降

廿三日 丁未 去ふる舞い

廿四日 戊申 雨降

廿五日 己酉



廿六日 庚戌

廿七日 辛亥

廿八日 壬子 駿河由普請にあついと二し吉田へよりい竹

廿九日 癸丑 谷与二ら城い

三月 つけ迄城い家康様ハ申尔ニ由野ニ由座い

出仕儀ハ駿府ヲケ申いへし由ニい

晦日 甲子 崎田迄越い

二月 小

一日 乙卯 駿府へ系着い 夜雨降

二日 丙辰 雪雨降石とりい

三日 巳丁 あさ普徳奉納元ふる舞ハ鶴殿若六所ニ振舞ニ

ふこ〜ハ

四日 年戌 此本城堀さ〜ハ

五日 未己 家康様此御ハ

六日 申庚 雨降

七日 酉辛 年此礼中ハ水野清六所ニふる舞ヲテ城ハ

八日 戌壬 家康様より此鷹ノ雁ニ張ハ

九日 亥癸 雨降 如雪ハ振舞ヲセ〜ハ

十日 子甲 うち〜ヤハ火

十一日 丑乙

十二日 卯丙

十三日 辰丁

十四日 巳戊 此城ニ此鷹ノ鶴ニ振舞ハ

十五日 午己

十六日 未庚 雨降

十七日 申辛 家康様此上洛廿八日ニ相定

十八日 酉壬 雨降

十九日 戌癸

廿日 亥甲

廿一日 子乙 雨降 花養院ニふる舞ヲセ〜ハ

千支錯誤至廿七日



家忠日記第四

三

家康

廿二日 乙亥 深尾清十所ニ振舞ヒテ城ハ

廿三日 丙子

廿四日 丁丑 ハ、法め所ニふる舞ヲテ城ノ夕メノ務善六ハ

こゝハ

廿五日 戊辰

廿六日 己卯 家康様より去年当府ニテ借使中ノハ木ニ石

ら下ハ

廿七日 庚辰

廿八日 壬午 雨降ニテ水上洛お延ハ

廿九日 癸未

三月大 家康様より...

十一日 甲申 家康様水上洛ニ成ル中京迄水上ニシテ成ル

十二日 乙酉

十三日 丙戌 さうろくニテ水兵糧武る儀より中ハ

十四日 丁亥

十五日 戊子 雨降 水前様水上洛ニ成ル

十六日 己丑

十七日 庚寅

十八日 辛卯 雨降

十九日 壬辰

家康 日記 第四

家康様
言

十日 巳 癸

十一日 午 甲

十二日 未 乙

十三日 申 丙

十四日 酉 丁

十五日 戌 戊

十六日 亥 己

十七日 子 庚

十八日 丑 辛

十九日 寅 壬

雨降

竹のや重丸奥國より三川へ帰小



三侯小笠原城中へ候

筒一丁

雨降

家康様去十四日ニ三崎ヲ水上迄ニ申小

廿一日 辰 甲

雨降

廿二日 巳 乙

廿三日 午 丙

廿四日 未 丁

廿五日 申 戊

廿六日 酉 己

廿七日 戌 庚

雨降

本田修渡不こふる森を越小

雨降

家康様所立京に關白板ハ大板ニ居座中申來

家康様
言
第
四

廿八日 辛亥

大木よりけい白根去廿二日京都へ出陣して
家康様よりし匠所達へ出陣し或一役は機嫌
申す来い

廿九日 壬子

もち舟より大木よりけい

晦日 癸丑

関白様所達よりちせりて此方より
さうらひ

四月 小

一日 甲子

雨降

二日 乙卯

雨降 関白様より家康様へ送進物兵糧部手儀

一七ツツいの内をうたたい

一いもくらの水さ

一金森所持のりは代部手貫

一こくまのてんもく 宗易所持

一もまふちの竹去やく

去朔日とむをこゆけい申す来い

雨降 野田後西根後振舞

雨降

四日 丁巳
五日 戊午
六日 己未
七日 庚申
八日 辛酉



九日 戌 壬戌

十日 亥 癸亥

十一日 子 甲子

十二日 丑 乙丑

十三日 寅 丙寅

十四日 卯 丁卯

十五日 辰 戊辰

十六日 巳 己巳

うゝのりゝ松又七版へふる舞とてこゝへ

雨降

いの以郎九束向ふへふる舞とて誠

善清有りぬふる舞と

京都へ飛脚こゝへ

雨降 家康様京都仕合深徳に冥白松家康様

所居友と成りてうゝの所より進出

九日 関白松家康様所居、所居廻、らぬ出

以初幸八十四日にお定中

一

一

一

十七日 庚 庚午

十八日 辛 辛未

十九日 壬 壬申

廿一日 甲 甲戌

初時鳥 小桑二右忠門へ往いて見物、誠し去

十四日 以初幸と書し、誠し去十五日 張楽とて

禁裏松を扱ひ、さして、小納戸ひあきや松うえ

の寺、乃契りとりけして、さつ

禁裏松へ出を扱ふ次牙

初日

一御紐

一盃香

二日

一沈香

一水手本こく標のうち枝にて

一唐綺三ふく

三日

一金ろあまやさん袋二入る

一さうらの唐えサ

一水ふく百

一御馬十疋

一こく子のけんさん

同さい銀のりん、をへて

一さんらんサマ

以上

就令度聚楽行幸、京中へ銀地子五百五十三枚
 余事為禁裏所料不進上へ并米地子之内三百石
 院所へ一進上へ此外五百石為関白領六文に進
 上へ京中地子米銀廿五兩一粒を供進中の金可
 有進上以法公家法門法におを江國高崎郡八子
 石子、令配分以米平別紙注雖も自然経有公掣
 在之ハ為敷直上上ふ家誰にお働所有公仁肝
 由支配状如件

家忠日記

了正十六日 卯月十五日 関白 秀吉判

卯月

廿二日 乙亥

廿三日 丙子

廿四日 丁丑

廿五日 戊卯

廿六日 己辰

廿七日 庚辰

廿八日 辛巳

雨降

夜雨降

家康振西刻京都より出陣城に五日に成城に城

へ出陣めこりりい

小田原に陣作振ふお濟い生い

廿九日 壬午

五月大

一日 癸未

二日 甲申

三日 乙酉

四日 丙戌

五日 丁亥

六日 戊子

七日 己丑

八日 庚卯

三州岡崎より本田作左衛門と戦い

礼ありきい

雨降

家忠日記 第四

家忠

九日 卯 雨降

十日 辰 雨降

十一日 巳 癸

十二日 午 甲 雨降
てんゆのてつとい普清

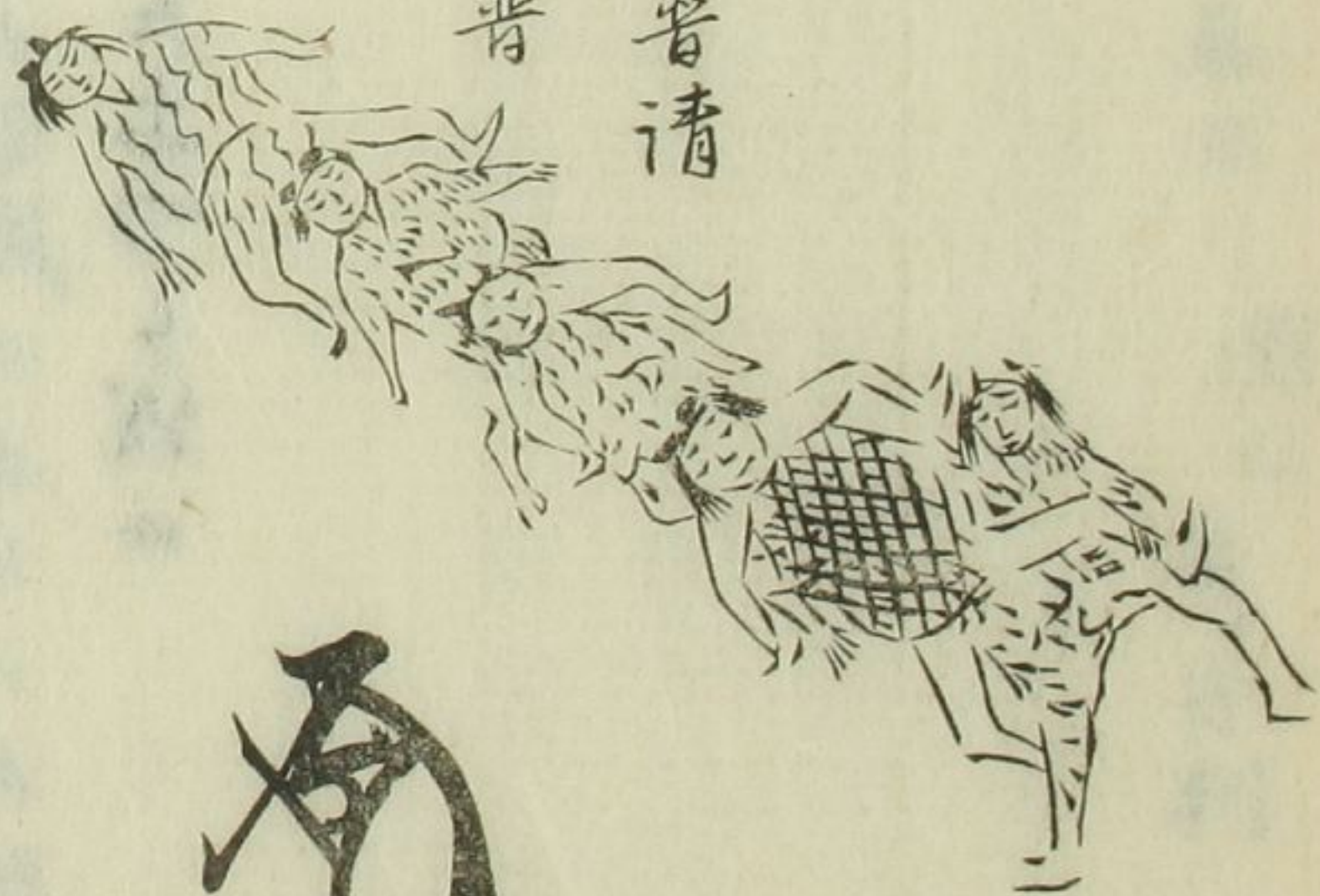
あさりの家康様より普

詰ニセいを入とて由

仗強し

十三日 未 乙 奥國より松平玄蕃出仕

十四日 申 雨降 普清出仕



十五日 酉 雨降

十六日 戌 雨降 不うと日け帰去十二日と日与

五右衛門女房死去し由

十七日 亥 雨降

十八日 子 今午へ来

十九日 丑 辛

廿一日 卯 癸

廿二日 辰 甲 竹谷松左衛門死去し

廿三日 巳 乙 雨降

廿四日 午 丙

文禄四年正月

賊山河連歎

家忠言

五月

廿四日 雨降

廿五日 三光院にて持家と建家以竹堂左に城以

散勺 家忠

茂りあひて四方や一本よりこの松

廿六日 雨降

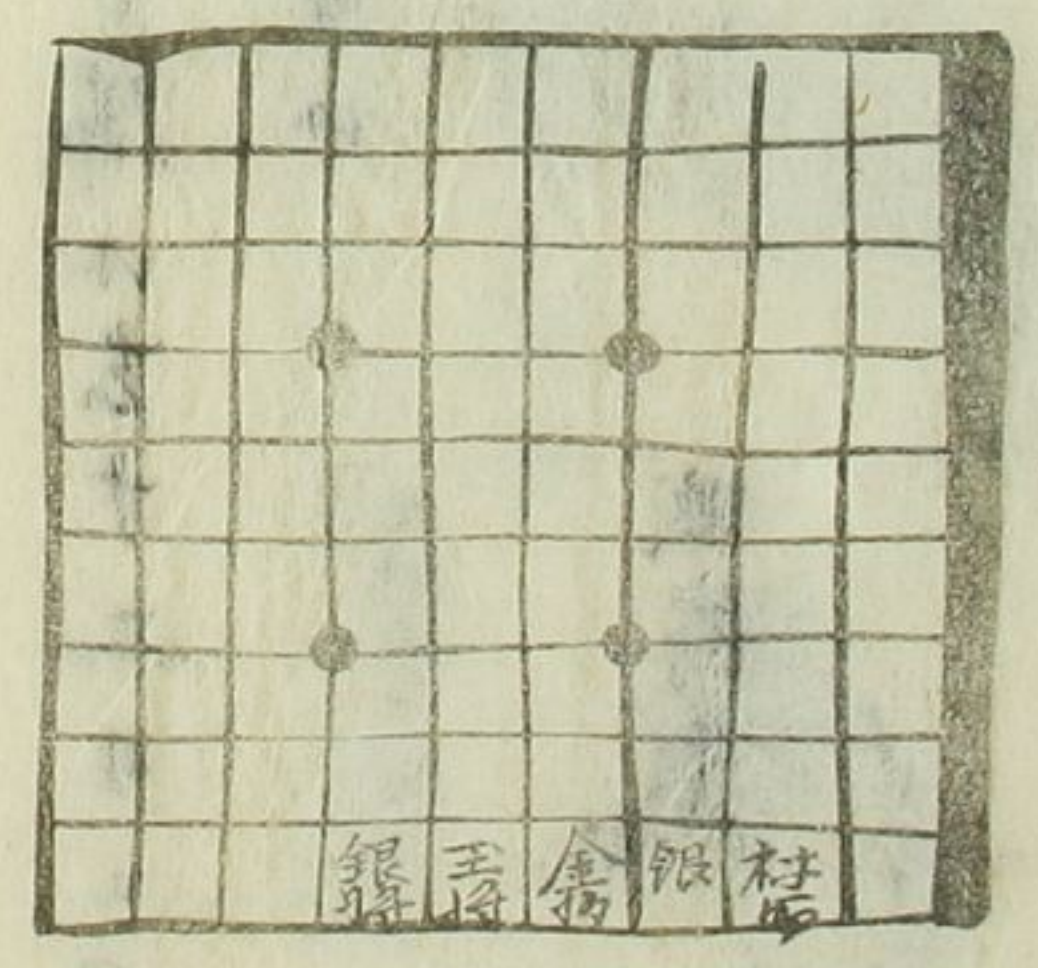
廿七日 雨降

廿八日 雨降

廿九日 雨降

晦日 雨降

後五月大



一日 喜下へりしより一人をこり

二日 晩雨降 内後平左忠門すより城以す

へ音信二人を城以

三日 雨降

四日 雨降

五日 越前幸勢舞こりて兵庫おいさるあり

り

六日 諸前板取逐こらいくらりてこりて諸前板よ

り大儀すて城以中より諸使以

七日 雨降

蘇州

八日庚申 雨降 京都関白松より五月に壬午迄の中

九日辛酉 徳川より女房宮家人は成竹のやと改く奥國

十日壬戌 秋雨降 お州と上方此事とのひの中

連歌無行を竹谷備後書は成竹のお徳をやりを

く水ら水い

散句傳物

桂々へて法程涼く庭の松 清著

十一日癸亥 晩の雨降

十二日甲子

十三日乙丑 秋雨降

十四日丙寅 暮下へり

十五日丁卯

十六日戊辰 今下へ来い多へるさこゆつけある

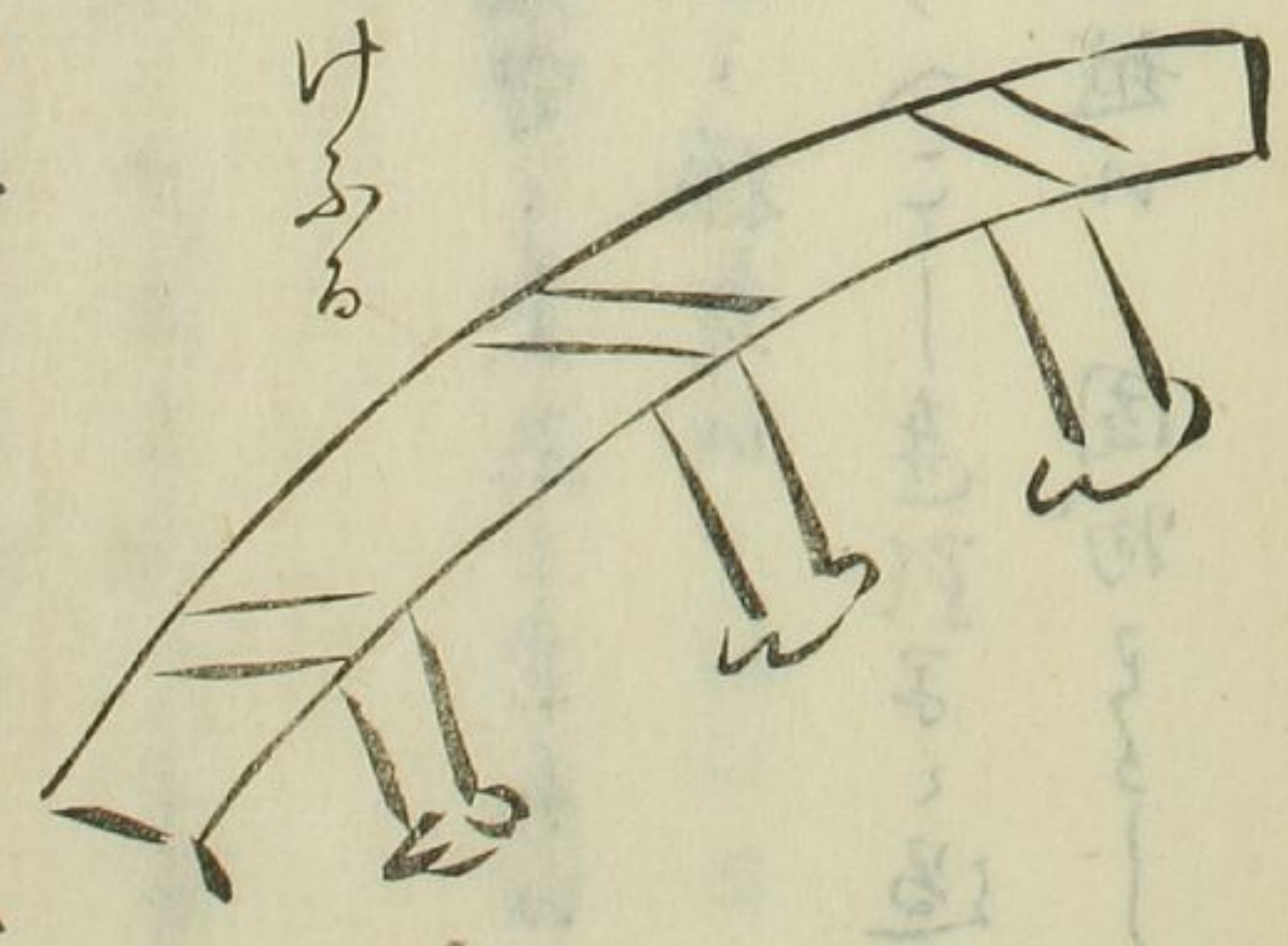
十七日己巳 舞い 八幡山伏法こい

十八日庚午 初ありささあ辰右郎左郎およりこい又

初お中崎線左島向おより来い 秋の夕ふちい

十九日辛未 初ささけ中崎権兵衛およりこい 徳川を

あら海々 西郡因幡辰廿二日礼こい 徳川を



中來

廿一日 申 戌刻に地震をる

廿一日 酉 暮下へ急い初夕うね

廿二日 戌 西郡松平周州礼に社城へ出立次郎同道に

廿三日 亥 殿様より菓このり届い 晩夕立まじくとを

廿四日 子

明日廿五日に西郡松平因幡守に及出連を以

て竹谷迄こし同占取取ふに振舞い

廿五日 丑 初山も、こ 舟のこりへこし連歌子と過

て帰れ吉田より本田十助に越い 因物より

よ長刀をい

廿六日 卯 刀

廿七日 辰 園崎くそくさいく勤三郎こし十助ら御い日

てりとて当社へ雨こいの連歌よりくまんけ

廿八日 巳 辰

廿九日 巳 辛 雨乞連歌字中をい 雨降

海

夕さちや瀧川をうけ神の庭

海 日 壬 午 雨降

六月小

蓋

一日 未 癸 今午へ糸ハ 雨降

二日 申 甲 雨降 不とけ 夕ヨリ 二ハ

三日 酉 乙 雨降 後川へ普請五人ツケ

四日 戌 丙 雨降

五日 亥 丁 雨降 初米緒川より来ハ

六日 子 戊 雨

七日 丑 己

八日 寅 庚

九日 卯 辛

十日 辰 壬 大津戸田三郎右衛門煩見舞ニハ

十一日 巳 癸 煩少能ハケ 海江 夕立来

十二日 午 甲 雨降

十三日 未 乙 雨降

十四日 申 丙 雨降 竹谷典次郎ハ紙ハケ 点五ノ連来

十五日 酉 丁 云下ハ糸ハ大結松平五左衛門ト云ハより音信

ニ鹿皮五枚

十六日 戌 戊

十七日 亥 己 夜雨降 夕ヨリ直松平勘右衛門ハ不ハ連来

ニハ

十八日 庚子

十九日 辛丑

廿一日 壬子

廿二日 甲辰

廿三日 乙巳

廿四日 丙午

竹谷松平左衛門前よりふるおとす

名下に集りて舞臺に振舞ひ

竹谷備後前へ具行して越前殿松大坂大政所松

水煩以外より上へ水のりりり中へ来り 水前

松ハ相通りしゆり

殿松水運に園崎へこゝりて大ひに延よすゆめ

みりりりいふりりりり

中崎同権兵衛所よりふるおとすこゝり夕めりる

ら修理ふりて中へい建敷い あり

散り 吹あらし風程涼し 雲のりり

廿五日 丁未 崎田久助前よりふるおとす夕めり 孫左衛門より

てあらしりりりりり

廿六日 戊申

廿七日 己酉 倉下順透よりふるおとす城に京へ飛脚つり

廿八日 庚戌 雨降

廿九日 辛亥 萩百津

七月 大

一日 壬子 倉下施我鬼よりふるおとす

二日 癸丑 大政所所頼能い申京師より申来い

三日 甲子 三この志や〜ゆ院能成

四日 乙卯 関東より融云のふれい〜駿興園より申来い

五日 丙辰 今下施系鬼とてい

六日 丁巳 字跡〜大阿と志と〜おるい

七日 戊午 先立〜志と連路い振舞い竹の元成い〜又ま

八日 己未 振系鬼い 野田〜今京長次死去い

九日 庚申 多い くのり〜元も志越い

十日 辛酉 雨降

十一日 壬戌 雨降

十二日 癸亥 雨降

十三日 甲子 雨降

十四日 乙丑 雨降

十五日 丙寅 雨降

十六日 丁卯 雨降

十七日 戊辰 雨降

十八日 己巳 雨降

竹のや〜志五の生あ〜こ〜い
竹のやより〜へり花百解

十九日 庚午 雨

廿日 辛未

廿一日 壬申 云下へり

廿二日 癸酉 雨降

廿三日 甲戌 雨降

廿四日 乙亥 雨降 本四彦二郎在頭へり 京へのり合

力二百疋のり 彦在より状成り



廿五日 丙子

廿六日 丁丑 雨降

廿七日 戊寅 雨降 惣総ふり舞り

廿八日 己卯 雨降

廿九日 庚辰 同典五九出の京より下向の周崎宗玄成り

晦日 辛巳

八月小

一日 壬午 家中宗礼成り

二日 癸未

三日 甲申

四日 乙酉 竹谷へ點五連成り 後州墨部美濃子女房成り

平玄番むすめ死を以て連歌止り

五日 丙戌 ひろく入院云大坊にて多んり

六日丁亥 永良へ提言せしことい

七日戊子 中崎津生より多録いそふくを仰

八日己丑 令下へ系い

九日庚子 令下へ系い

十日辛卯 令下へ系い 北州氏直伯父小條英濃守関白根

へ出仕令り急崎へ着りれいあ内を林原武部大

輔成濃藤八也

十一日壬辰 令下へ系い

十二日癸巳 初松茸大洞より成い

十三日甲午 雨降

十四日乙未 雨降

十五日丙申 夜雨降 令下へ系い 務屋善六上へのりい

て此方迄成い

十六日丁酉 雨降 善六上へ立いすりくさうの崎長嶺の田

地と野付右衛門と公事して吉田と五右衛門系

いふつをへ馬よりつらばい

十七日戊戌

十八日己亥 殿板取右筆より返こい

十九日庚子 雨降

廿日辛丑 雨降 吉田本田十助に成い

廿一日 壬子 弓返十助に物いさ下へ糸い弓返ハ二百疋出

廿二日 卯癸 同表平不こふり舞い

廿三日 辰甲

廿四日 巳乙 五左束つり一日三百疋と連歌い明日廿五日

二竹のや流形原泉来ふる舞い

廿五日 酉丙 雨降一日三百疋と連歌い

才一 竹備法若

花の外形ありうわの紅葉地

才二 又家忠

法多むすやをきゆとりせら葉の家

才三 正徳

いの方の山の端みけよる月

廿六日 丁未 餅の氣ら舞い

廿七日 戌申 虫強ふる舞い くらをより弓うりて舞い

廿八日 酉己 殿扱小性氣源尾法十城い申島へ同心てこい

廿九日 戌庚 同法、うわうせい

九月大

一日 辛未 土用、入

二日 壬子

三日 丑 祭 崇福寺より舞臺を深溝へ向ふ

四日 甲 雨降 殿板敷より田原大津へ今日水着は成

い中めて舟より竹と川と大津へこゝに殿板

を向ふ

五日 卯 風吹て多に物の上流に流しとま中の竹谷へ

人をこゝに

六日 辰 酒井若五丸出づ初雁の振舞、吾下へ去り

東条舞上こゝに

七日 巳 丁

八日 午 戌 出前板敷連て舟の野送り

九日 未 己 吾下へ去り出前さまは崎の舟をこゝに

水音信へ人とこゝに

十日 申 庚 夜雨降

十一日 酉 辛 祈禱の周崎あ都形都右忠向位先坊に成

十二日 戌 壬 形都右位先坊より形都右へ去り出

十三日 亥 癸

十四日 子 甲 雨降 東堂大洞より成て吾下へ行く

高野聖に成

十五日 丑 丁 雨降 隠入院へ去りてこゝに

十六日 卯 丙 吾下へ去り舞臺をこゝに

家言

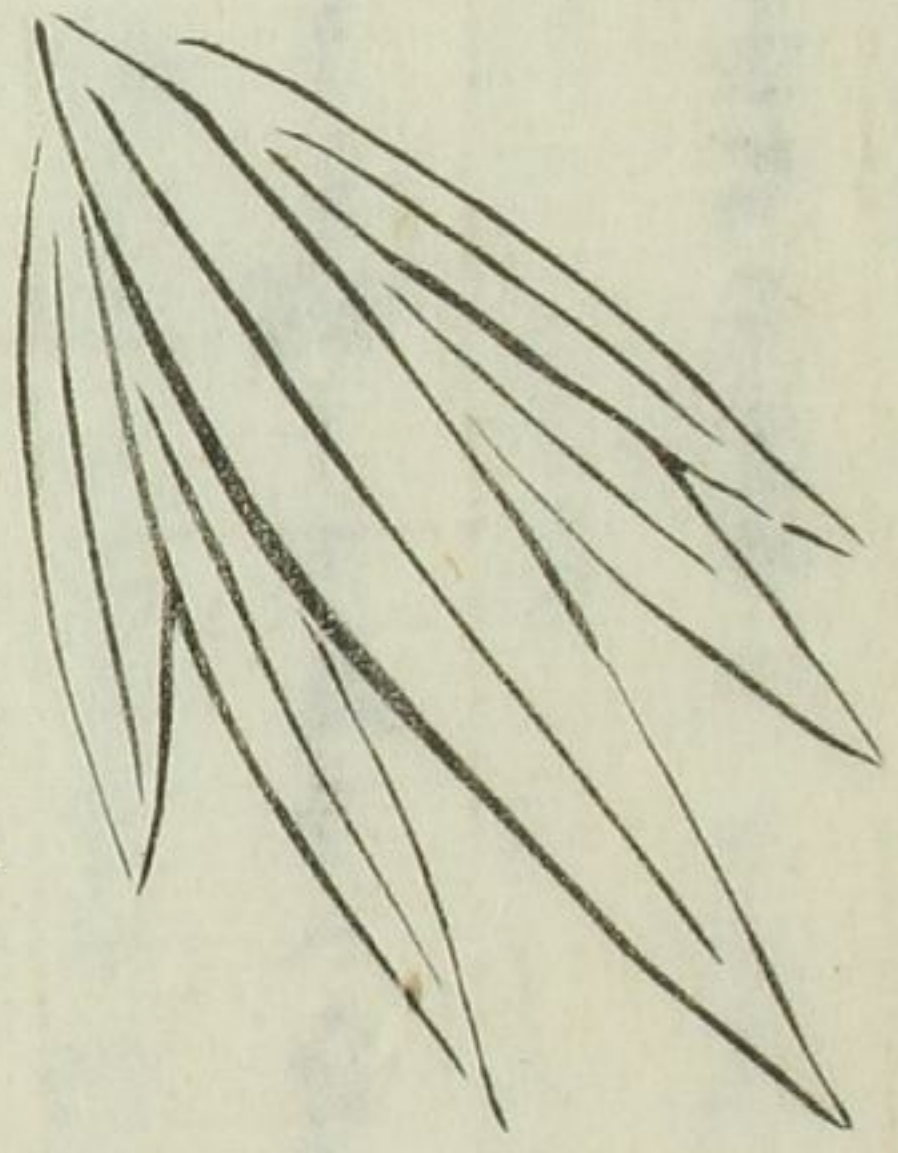
十七日 卯 雲崎ぬき 友國之誠 之あけ 倉藤のちい
さき

十八日 辰

十九日 巳

廿日 庚

廿一日 辛



しし之用事とて人をまひ 西涼海新二郎と
やまをいひつゝ為れ 小久保こころ藤たい志

よるらん志んちやう四國落已上三番

廿二日 壬

藤と物に又西涼海とやみそをいひつゝ為れ後川
より上流之儀そつゝや方よりとの根流こつゝい

みての間各用之由中來也

廿三日 癸酉

廿四日 甲戌

廿五日 乙亥

廿六日 丙子

小常

夜雨降 東堂根ふる藤也
あさ迄雨降

さうしまてう己ふひるゝあうしとりいぬを人

りり出い當社法楽之連歌明廿七日之連元來中

い竹五流社城也

廿七日 丁丑

連歌也

發句

まうさとのし計あや草のあ

家言

廿八日 戌

廿九日 己卯

晦 辰 庚

十月 小

一日 辛巳

大津よりこゝの江土開東へこゝの賀茂甚右東
の長刀いゝつ物い

二日 壬午

物善六京より下い 八幡うゝのとやまてまい
うゝ留い

三日 癸未

竹乃やと次郎と成い

四日 甲申

五日 乙酉

吉田酒井丸御門替隠居字内家督祝言：吉田へ
こゝの字内不こふ多舞い城へ三百足樽着隠居
へ百足樽着後州で法兵より殿松京部成屋敷
のふさの竹くさ五俵一斗成外いゝいへ
申中まい 竹居松と次郎所望いてまいゝ
つつりはい

六日 丙戌

柏原一彦と後川あいのこより後差想と進歌
てこゝの昨日と礼と吉田宮内後より序と鴨二
こゝい

七日 丁亥

雨降 風来まゝうゝいゝ源四郎つゝい

家忠日記第四

連

八日 子戌

九日 丑己

十日 寅庚

十一日 卯辛

十二日 辰壬

十三日 巳癸

十四日 午甲

雨降

大津戸田甚九を城へ落付同興五左所へふる舞

甚九逗留夕食森平所へ

甚九ら御はお猿こまうく進られいけ方より刀

徳差出い鷹野へい

うらのへい



十五日 未乙

十六日 申丙

十七日 酉丁

十八日 戌戊

十九日 亥己

廿日 子庚

廿一日 丑辛

廿二日 寅壬

うらのへい

永良あまひうせに城に輕七十本とれい

うらのへい

月次連絡い竹谷流うらのり

散句

月うらり雪の切出や程時

家忠

廿四日 辰 甲
うらのへいてい

廿五日 巳 乙
うらのへいてい

廿六日 午 丙

廿七日 未 丁

廿八日 申 戊
大津女房宿らゆい 墨崎法安お猿炊いて所越い

廿九日 酉 己
いも強い

十一月大 墨崎へ知行方五十分一の米淺つうい

一日 庚 戌
法安お猿炊いて所ゆい 秋雨降

二日 辛 亥
あさ迄雨降 係く女房宿らゆい 又すうへて

野付右忠の長嶺の田地公事と五右衛門

つうい

三日 壬 子
中崎堤法うせこい 雪ふる

四日 癸 丑
うらのへいていもいうらそんい

五日 甲 卯
ふうくもうへりい

六日 乙 辰
京宗元さうのりて桑三湯産爰作い

七日 丙 辰
中崎へこい

八日 丁 巳
ふうくすゆい 丑刻ニ大なるゆり 宗元註校

九日 戊 午
ふうくすゆい

十日 己未 吾下へり

十一日 庚申 中崎へこり

十二日 辛酉 雨降

十三日 壬戌 園崎本田作左より五十分一儀尚成て出

以へし由内儀係の孫を夫に城にふりて在留

宗元と城

十四日 癸亥 京へ茶の湯の道具とり二人とこり

十五日 甲子 吾下へ京に宗元竹谷へらゆ

十六日 乙丑 隠入院月次建あてこり竹谷備後過敷より

俄りつら成連歌心

十七日 丙午 竹谷金左衛門所へ茶の湯をこり京宛へた

ふりとり二人と城

十八日 丁未 中崎へこりその沈表池をあひひく世に輕

五十五本とりゆ ふうを物に女を同にゆん

日つらいい 京宛より茶の湯のいりをもあひ

とこり

十九日 戊辰 宗元竹谷より城

廿日 己巳 亥刻に右へゆり 女を虹もまを法安ぬこり

ゆ

廿一日 庚午 雨降 小うん入

崎友國より鷹之雁一二羽

六日 酉 乙 大久仁入

七日 戌 丙 點取連歌にて休否と次郎所へ二羽

八日 亥 丁 阿ふれあふ

竹谷備後所へ茶の湯のあふと松平分所より鷹

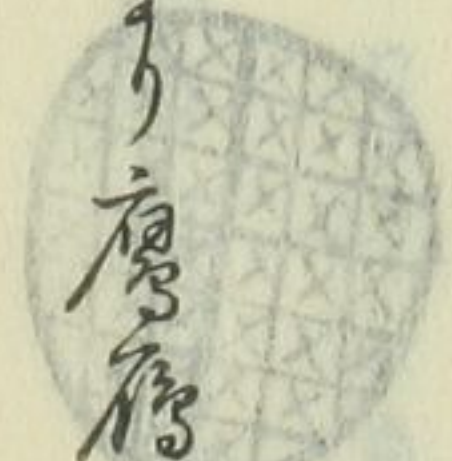
九日 子 戌 鷹之城

十日 丑 己 鷹之城

十一日 寅 庚 数寄屋發出本

十二日 卯 辛 成刻をへゆる

大津より鷹鷹之城へ并五徳後



在りてふい

十三日 辰 壬 遠國の紙にて園崎法ある紙

十四日 巳 癸 宗元京へ帰に申高へ二羽

十五日 午 甲 阿ふれあふ 二十本

十六日 未 乙 同あみひりせの紙 二十五本

十七日 申 丙

十八日 酉 丁

十九日 戌 戊

廿一日 亥 己 鶴成八郎三郎数寄屋

廿一日 子 庚 鷹下へふり 明日殿板吉良へ此通に申す

廿一日 阿若右衛門通河日...

廿二日 殿振園白振より吉良へ...

廿三日 通以下して水一献系...

廿四日 竹石と次郎敷寄り...

廿五日 殿振出陣のむら...

廿六日 五井流之郎敷家...

廿七日 駿河へ越年...

廿八日 竹と次郎同...

廿九日 雨降

...

廿七日 丙午 是川竹石と次郎知行のう...

廿八日 丁未 駿府迄系着い十三...

廿九日 戊申 雨降

身共
言

身共

抄
卷
之
三
上
卷
之
三
上
卷
之
三
上

